

令和元年度

教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成30年度事業)

令和元年10月

南砺市教育委員会

目 次

I	令和元年度 点検及び評価実施方針	1
II	平成30年度 教育委員会活動状況	2
III	平成30年度 教育委員会審議決定事項	4
IV	教育委員会 組織・機構図	8
V	教育委員会の業務	9
VI	平成30年度 南砺市教育委員会重点施策	10
VII	平成30年度 教育委員会施策体系並びに事業概要と評価	16
VIII	学識経験者の意見について	65

I 令和元年度 点検及び評価実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、南砺市教育委員会は、市民への説明責任を果たすため、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性の確認をすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

2 点検・評価の対象

平成30年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検評価

南砺市総合計画後期基本計画及び南砺市教育振興基本計画を踏まえた「平成30年度南砺市教育委員会重点施策」に基づき、教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

(2) 学識経験者の知見の活用

下記の学識経験者から教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、報告書に記載する。

学識経験者（平成29年度委嘱、任期3か年度）

職名	氏名	主な経歴等
委員長	土田 信久	井波美術協会会長
委員	武部 範代	南砺市連合婦人会会長
委員	宮川 義文	南砺市PTA連絡協議会会長(H29)

学識経験者（平成30年度委嘱、任期3か年度）

委員	畠中 昌代	南砺市母子保健推進員連絡協議会会長
----	-------	-------------------

※経歴は委嘱当時

(3) 議会への報告及び公表

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、南砺市ホームページへの掲載、情報公開窓口への備え付け等により公表する。

Ⅱ 平成30年度 教育委員会活動状況

1. 教育長、委員選任状況

(在任年数は平成31年3月31日現在)

職	氏名	性別	主な経歴	任期	教育長、 委員通算 在任年数	役職任期	常勤 非常勤 の別	保護 者
教育長	高田 勇	男	元中学校長	H27.12.7～ H31.3.31	3年3月 (1期3月)		常勤	
				H25.4.1～ H27.12.6	2年8月 (1期)			
教育長 務代理者	碓井 好彦	男	元小学校長	H26.12.7～ H30.12.6	4年 (1期)	H29.12.22～ H30.12.6	非常勤	
教育長 務代理者	江川由貴子	女	元中学校PTA役員	H27.12.22～ H31.12.21	3年3月 (1期)	H30.12.7～ R1.12.21	非常勤	○
委員	林 紀孝	男	県PTA連合会参与 元市PTA連絡協議会長 元県PTA連合会副会長	H28.12.24～ H32.12.23	2年3月 (1期)		非常勤	○
委員	水上 和夫	男	元小学校長	H29.12.22～ H33.12.21	1年3月 (1期)		非常勤	
委員	竹部 俊恵	男	元中学校長	H30.12.7～ H31.12.7	3月 (1期)		非常勤	

* 教育委員の任期は4年間、新教育長の任期は3年間

2. 委員構成 (H31.3.31 現在)

年齢：60歳代 3人、40歳代 2人

3. 教育委員会の開催状況

(1) 会議開催数

定例会	9回
臨時会	3回

(2) 付議案件数

協議事項	55件
報告事項	47件
計	102件

(3) 委員の出席率：96%

(4) 会議の公開：原則公開

4. その他の主な活動状況

会議・行事	回数・月日	場 所	出席状況
総合教育会議	H30. 10. 2 H31. 2. 19	南砺市	教育長 出席委員 4人
学校訪問研修	18回	小学校 9校 中学校 8校	教育長 参加委員 4人
先進地視察研修	H30. 10. 29～ H30. 10. 30	群馬県高崎市 栃木県那須塩原市	教育長 参加委員 4人
市議会出席	定例会 4回 臨時会 2回	市議会議場	教育長
県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会	H30. 7. 12	富山市	教育長 出席委員 4人
同 研修会	H30. 11. 16	上市町	教育長 出席委員 3人
西部地区地方教育委員会連絡会 総会及び中央講師招聘講演会	H30. 7. 6	高岡市	教育長 出席委員 4人
同 研修会	H30. 11. 1	小矢部市	教育長 出席委員 4人
砺波地区地方教育委員会連絡協議会 定期総会及び視察研修	H30. 6. 26	砺波市	教育長 出席委員 4人
同 教育委員等研修会	H30. 11. 14	砺波市	教育長 出席委員 4人
同 理事会	H31. 1. 28	砺波市	教育長

Ⅲ 平成30年度 教育委員会審議決定事項

1. 定例会

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
第1回 (H30. 4. 25)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度教育委員会重点施策について (2) 南砺市教育委員会文書管理規程の一部改正について (3) 南砺市教育委員会事務決裁規程の一部改正について (4) 南砺市学校職員服務規程の一部改正について (5) いなみ木彫りの里テスコート休館日及び開館時間の変更について (6) 南砺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について (7) 南砺市地域児童健全育成推進活動事業補助金公布要綱の制定について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度3月定例会一般質問等の要旨について (2) 市職員の人事異動について (3) スポーツ推進委員の任命について (4) 公民館長・主事及び指導員の任命について
第2回 (H30. 5. 21)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 富山県市町村教育委員会連合会理事の選出について (2) 南砺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について (3) 南砺市「とやまっ子」子育て支援サービス普及促進事業実施要綱の一部改正について (4) 中央図書館休館日の変更について（7月～8月） (5) 中央図書館開館時間の変更について(福光ねつおくり七夕祭り期間) <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年6月補正予算の概要について (2) 平成30年6月定例会の議決に付すべき契約案件について (3) 平成30年度南砺市奨学金の貸与について (4) 平成30年度学校訪問研修について (5) 平成30年度教科書展示会の開催について (6) 南砺市民大学講座、放課後子ども教室（土曜学習）推進事業の実施について (7) S S W、特別支援教育コーディネーターの訪問活動について (8) 「子育て相談のご案内」の配布について
第3回 (H30. 7. 6)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市教育委員会事務決裁規程の一部改正について (2) 南砺市教育委員会点検評価委員会設置要綱の一部改正について (3) 南砺市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について (4) 南砺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部改正について (5) 南砺市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱の一部改正について (6) 南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度6月定例会の要旨について (2) 学校健診情報可視化の取組について (3) ふるさと教育推進事業について (4) 第14回南砺市小学校連合運動会について (5) 平成30年砺波地区中学校総合選手権大会について (6) チャレンジデー2018 in なんとの結果について

	<ul style="list-style-type: none"> (7) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2019開催要項(案)について (8) 南砺市民大学 講演会の結果について (9) 夏季教職員研修実施要項について (10) 「木彫刻のまち・井波」日本遺産認定について (11) 国登録有形文化財の登録について(白山宮鞆堂)
第4回 (H30. 8. 13)	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について (2) 南砺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部改正について (3) 小規模多機能自治の推進について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度9月補正予算要求概要について (2) 中学校部活動の北信越・全国大会への出場について (3) 中学生学習支援推進事業の申込み結果について (4) 第69回常陸宮賜杯中部日本スキー大会、第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会について
第5回 (H30. 9. 20)	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について (2) 南砺市子どもいじめ防止対策基本方針検討委員会設置要綱について (3) 南砺市高等職業訓練給付金事業実施要綱の一部改正について (4) 南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について (5) 南砺市民間保育園等育成補助金交付要綱について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 山村留学定住事業「源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」について (2) 教育委員会県外視察研修について (3) 中学生学習支援事業の結果報告について (4) 南砺市民大学講座(後期)の実施について (5) 南砺市子ども読書活動推進計画(第3次)の進捗状況について
第6回 (H30. 11. 5)	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年9月定例会一般質問等の要旨について (2) 南砺市教育委員会表彰内規の見直しについて (3) 南砺市奨学資金貸与規則の一部改正について (4) 南砺市奨学資金支援助成金交付要綱の一部改正について (5) 南砺市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱の一部改正について (6) 南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について (7) 南砺市出生祝い金支給実施要綱の一部改正について (8) 国登録有形文化財の登録手続きについて(桂湯・富田家「長門門」他3棟・吉江地区招魂社)
	報告事項 なし
第7回 (H30. 12. 12)	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度南砺市教育委員会表彰の候補者について (2) 南砺市教育委員会公告式規則の一部改正について (3) 平成31年度教育委員会予算要求の概要について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度12月補正予算の概要について (2) 常陸宮賜杯第69回中部日本スキー大会及びとやま・なんと国体2020について

	<ul style="list-style-type: none"> (3) なんと！やさしい子育て応援企業認定制度の認定及び表彰企業について (4) 福祉医療費請求書の電子データ化の開始について (5) 南砺市文化財保護審議会の委員改選について
第8回 (H31. 2. 4)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市いじめ防止基本方針(案)について (2) 南砺市交流センター条例の制定に係る関連条例の廃止及び一部改正について (3) 南砺市母子保健法に基づく低体重児の届出及び養育医療の給付等に関する規則の一部改正について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市議会12月定例会一般質問の要旨について (2) 平成30年度3月補正予算の概要について (3) 中学校の休業日における授業実施について (4) 平成31年南砺市成人式の出席状況について (5) 第74回国民体育大会冬季大会南砺市壮行式について (6) 福野文化創造センターの休館日の開館について (7) 平成31年度教職員研修計画について
第9回 (H31. 3. 12)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成31年度教育委員会重点施策(案)について (2) 南砺市いじめ防止基本方針(案)について (3) 南砺市中学校部活動ガイドラインについて (4) 南砺市学校管理規則の一部改正について (5) 南砺市奨学資金貸与規則の一部改正について (6) 南砺市福野文化創造センターの附帯設備の利用料金の額についての告示の一部改正について (7) 南砺市井波総合文化センターの附帯設備の利用料金の額についての告示の一部改正について (8) 南砺市福祉医療請求書の廃止等に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について (9) 南砺市臨時保育室設置事業実施要綱の一部改正について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成31年度全国学力・学習状況調査の実施について

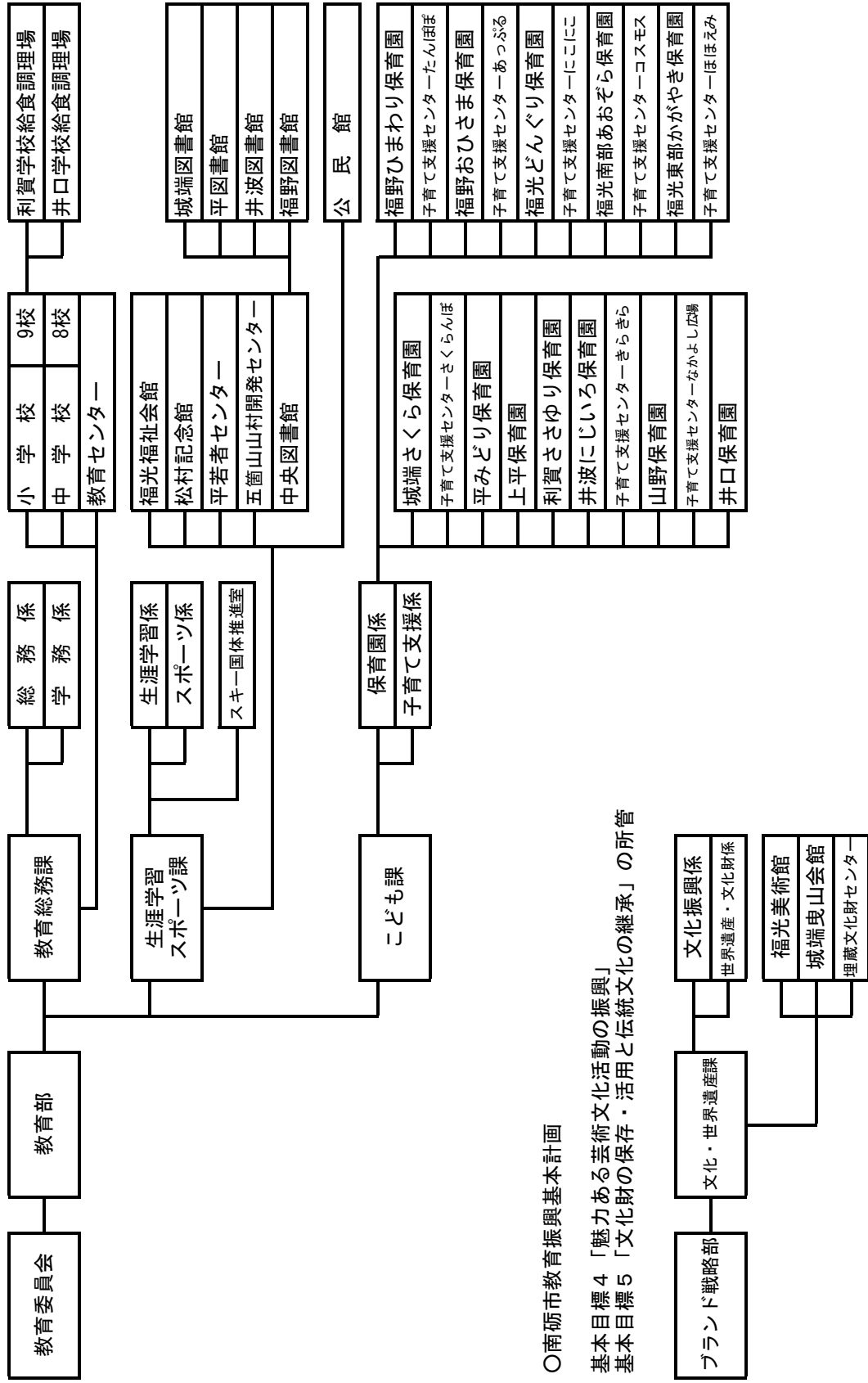
2. 臨時会

回(開催日)	審議決定事項
第1回 (H30. 7. 31)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成31年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 井口地域小中一貫校設置について (2) 南砺市部活動指導員について (3) 小中学校教員の出退勤時刻調査について (4) 南砺市小中学生の学力調査結果について
第2回 (H30. 11. 19)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 井口地域義務教育学校について <p>報告事項</p> <p>なし</p>

<p>第3回 (H31. 3.22)</p>	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市交流センター条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について (2) 南砺市交流センター条例の施行等に伴う関係訓令の整理に関する訓令について (3) 地域づくり協議会の設置に伴う関係告示の整理に関する告示について (4) 南砺市交流センター条例の施行に伴う関係告示の整理に関する告示の制定について (5)
	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教員人事異動について

IV 教育委員会 組織・機構図

平成30年4月1日現在



○南砺市教育振興基本計画

基本目標 4 「魅力ある芸術文化活動の振興」

基本目標 5 「文化財の保存・活用と伝統文化の継承」の所管

V 教育委員会の業務

平成30年4月1日現在

○井波庁舎

教育委員会

教育長

教育部長

課 電話番号	係	所管業務
教育総務課 23-2012	総務係	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議 ■教育委員会会議 ■教育重点施策の企画立案及び総合調整 ■教育行政に関する相談、請願及び陳情 ■学校その他教育機関の設置及び廃止 ■育英奨学に関する事務 ■教育に関する調査及び統計
	学務係	<ul style="list-style-type: none"> ■通学区域事務 ■学校の施設・設備の整備、維持管理及び営繕 ■児童生徒の就学、入学、転学及び退学事務 ■学校の指導、管理及び運営 ■学校の保健、環境衛生及び学校給食事務 ■教育センター事務 ■幼保小連携事務
生涯学習 スポーツ課 23-2013	生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯学習の振興に係る事業の調査企画及び総合調整 ■家庭教育、成人教育及び女性教育 ■青少年健全育成 ■社会教育委員、社会教育関係団体事務 ■公民館活動及び公民館運営審議会事務 ■児童生徒の交流事業 ■公民館、図書館等その他社会教育機関との連絡調整 ■文化センター及び勤労青少年ホーム等事務
	スポーツ係	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯スポーツ、競技スポーツの普及及び振興 ■スポーツ振興審議会及びスポーツ推進委員事務 ■社会体育団体の育成及び支援 ■総合型地域スポーツクラブ支援
こども課 23-2010	保育園係	<ul style="list-style-type: none"> ■保育園の運営管理 ■保育料の決定及び徴収 ■保育指導及び特別保育事業 ■保育園審議会 ■保育園臨時職員の採用及び募集 ■保育園職員の研修 ■私立保育園・認定こども園(幼稚園)に対する補助及び運営支援 ■子育て支援センター事業関係
	子育て 支援係 (女性・こども 相談室)	<ul style="list-style-type: none"> ■児童福祉団体事務 ■母子、父子、及び寡婦福祉法に係る業務 ■ひとり親家庭等医療及びこども・妊産婦医療費助成・養育医療給付 ■子ども・子育て支援事業計画 ■児童手当、児童扶養手当、及び特別児童扶養手当 ■出生祝い金 ■児童館(児童センター)の管理運営 ■放課後児童クラブの管理運営及び事業補助関係 ■児童虐待対策、こども及び子育て相談、並びに女性相談 ■ファミリーサポートセンター ■児童遊具設置等補助 ■発達障害児の支援 ■「とやまっ子」子育て応援券 ■南砺の3人っ子助成金 ■ひとり親世帯子育て応援事業

南砺市教育委員会重点施策

基本理念（教育目標）

本市では、次のことを教育目標として掲げます。

未来を切り拓く南砺の人づくり

基本目標

教育目標の実現のため、本市教育の目指すべき方向を踏まえて、次の6つを基本目標とします。

1 豊かな心を育む学校教育の充実

児童生徒の「豊かな心」を育むために、知・徳・体の調和のとれた教育を推進します。基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるよう努めるとともに、家庭学習の定着を図り、笑顔と元気があふれる子どもたちの教育環境を整え、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自分を生かすことができる教育を目指します。また、将来地元を支える活力につながる「ふるさと教育」を推進することで、ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童生徒を育てていきます。

2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

市民が心豊かで生きがいのある人生を送れるよう、さまざまな講座・講演会を開催します。今後も、各種生涯学習講座の内容をさらに充実させ、市民の学習意欲や満足度を高めるとともに、学びの場をとおして子どもたちに対する家庭や地域の教育力の向上を図ります。また、生涯学習施設の学習環境改善のため、今後も計画的に改修工事を実施します。

3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

各ライフステージで市民の誰もがそれぞれのライフスタイル、興味・関心、適正等にに応じてスポーツ活動に参画し、健康で生きがいのある生活が営まれるよう、子どものスポーツの機会や親しむことができる環境の充実、総合型地域スポーツクラブへの支援、全国や世界で活躍できる選手の育成、市民のスポーツ活動を支える人材の育成と活用に努めます。

4 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

文化財は地域の歴史や文化を正しく理解するうえで欠かせない市民共有の財産であり、その適切な保存整備に努めます。また、文化財の情報発信や活用に取り組むことで、文化財の価値や保存継承の大切さについて理解促進を図り、地域に対する誇りや愛着の醸成、地域の宝を後世に継ぐ担い手の育成に努めます。

5 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実

保護者等が、就労しながら無理なく子育てができるよう支援体制の充実に取り組み、子どもが、心身ともに健全に育つ環境づくりを進めます。

保育士の確保と資質の向上に努め、保育環境の充実を図るとともに、保育園の保育サービスを充実し、認定こども園等の幼児教育を支援します。

また、児童館や放課後児童クラブなどの児童の居場所づくりを推進し、児童の健全な育成及び共働き世帯の子育てと仕事の両立を支援します。

6 子どもへの喜びや生きがいを持てる子育て家庭への支援

保護者等が、喜びや生きがいを持てる子育てができる環境づくりを進めます。

今後も、子育て支援サービスの機能及び、特別に支援が必要な子や、子育て等に関する相談体制の充実と努めるとともに、保育料の軽減やこども医療費などの助成により経済的負担の軽減を図り、あらゆる面から子育て家庭への支援を充実させます。

また、ひとり親家庭への就労支援や資金貸付制度、子育て応援制度の充実を図り、自立に向けた支援に努めます。

平成30年度の主な取組

総合教育会議をはじめ、教育委員会と市長とのさらなる連携強化を図るとともに学校・家庭・地域社会が一体となって下記の具体的な事業に積極的に取り組みます。

※は南砺幸せなまちづくり創生総合戦略で取り組む事業

1 豊かな心を育む学校教育の充実

—ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子の育成を目指して—

(1) 確かな学力の育成

- ① 教員の授業力向上に向けた研修の実施
- ② 小・中学校の連携の強化
- ③ 兼務発令による小・中学校教員の授業交流の促進
- ④ 井口地域小中一貫校設置検討事業《新》
- ※⑤ 山村留学定住事業（短期山村留学事業の実施）
- ※⑥ 学校間をつなぐ遠隔協働学習
- ⑦ なんとっ子まなびサポーター（国語・算数（数学）学習サポーター）の配置
- ⑧ 「とやま型学力向上総合支援事業」の推進
- ⑨ 小・中学校へのALT派遣による外国語活動の充実

- ⑩ 児童生徒の学力を把握し指導の改善に役立てる「全国標準学力検査」の実施
- ⑪ なんとイングリッシュチャレンジ事業《新》
- ⑫ 英語検定（3級以上）助成事業の実施
- ※⑬ 奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業

（2）自他を尊重し、他を思いやる心の育成

- ※① ふるさと教育推進事業
 - ② 市いじめ問題対策会議を核にした子どもいじめ防止対策の推進
 - ③ 「いじめ早期発見・早期対応のためのアンケート」の実施
 - ④ よりよい学校生活と友達づくりのための「小・中学校生活アンケート調査」の実施
 - ⑤ ネットトラブル防止対策事業《新》
 - ⑥ スクールアドバイザー配置事業《新》
 - ⑦ 特別支援教育コーディネーターによる特別な支援を必要とする児童に対する「個別の教育支援計画」等の立案・策定への支援
 - ⑧ 早期支援コーディネーターによる幼・保・小の連携を通じた特別な支援が必要となる可能性がある子どもと保護者への情報提供及び相談体制の充実
 - ⑨ スクールソーシャルワーカー、適応指導員等による相談体制の充実
 - ⑩ 適応指導教室運営研修の実施
 - ⑪ スタディ・メイトの配置による支援体制の充実
 - ⑫ 学校図書館担当職員（学校図書館司書助手）の配置による読書環境の整備・充実
 - ⑬ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の実施

（3）健やかな体の育成

- ① 地元食材を通して食と地域への理解を深める「なんとハートフルランチ」「なーんと！おいしい学校給食週間」の実施
- ② 中学校部活動指導員配置事業の実施《新》

（4）学校教育環境の整備

- ① 小中学校校務支援システム導入事業《新》
- ② 電子黒板機器等の整備
- ③ 学校図書館図書の本の整備
- ④ 井波小学校大規模改修工事
- ⑤ 福光中部小学校大規模改修工事
- ⑥ 井波中学校長寿命化改修工事
- ⑦ 小学校防犯カメラ設置工事《新》
- ⑧ 小中学校空調設備設置工事实施設計《新》
- ⑨ 教育教材備品の整備

2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

（1）生涯学習活動の推進

- ① 「南砺市民大学講座」「緑の里講座（高齢者大学）」の実施
- ② 心豊かな子どもを育てる子ども体験活動の実施
- ③ 各小学校区で小学校の余裕教室等を活用した「放課後子ども教室」「土曜学習推進事業」の実施
- ④ 中学生が夏休みを過ごす際の学習の場を提供する「中学生土曜学習推進事業」の実施
- ⑤ 社会教育団体の活動への支援
- ⑥ 地区高齢者学級への支援

- ⑦ 幼・保・小・中で開催される子育て講座等、家庭の教育力向上への支援
- ⑧ 「なんとっ子家庭教育 10 か条」の活用
- ⑨ 蔵書の充実とレファレンスサービスの向上による利用者ニーズに対応した図書館サービスの充実
- ⑩ 読み聞かせ等ボランティア団体の養成と育成《新》

(2) 公民館活動への支援

- ① 地域活動の拠点となる地区公民館の自主的な活動への支援
- ② 地域や公民館活動を通じた家庭教育の推進
- ③ 公民館職員の資質向上に向けた研修会等の実施
- ④ 小規模多機能自治移行にむけての連携《新》

(3) 青少年健全育成活動への支援

- ① 地域に密着した活動を実施している青少年育成市民会議への支援

(4) 生涯学習施設の整備・充実

- ① 地区公民館駐車場舗装打換工事（南蟹谷・北山田）《新》
- ② 旧北山田保育園改修（建物・外構等）工事《新》
- ③ 井波総合文化センターエイトホール・視聴覚室等改修工事《新》
- ④ 城端伝統芸能会館舞台音響設備改修工事《新》

3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

(1) 各種スポーツ大会・教室の開催

- ① 運動遊びの大切さについて理解を深める「なんと元気っ子教室」の継続（保育園・幼稚園）
- ② ニュースポーツ、レクリエーションスポーツなどの生涯スポーツの紹介及び推進
- ③ 南砺市の特徴を生かしたスポーツ大会の誘致及び開催
- ④ 中部日本スキー大会開催への支援《新》
- ⑤ 国民体育大会冬季大会スキー競技会開催準備への支援《新》

(2) スポーツ活動への支援

- ① 体育協会・競技協会でのスポーツ競技力の向上及び選手指導者の育成強化等への支援
- ② 全国大会等のスポーツ大会出場への支援

(3) 体育施設の効率的な管理・運営体制の確立

- ① 各体育施設の指定管理者による効率的な管理運営の推進

(4) 社会体育施設の整備・充実

- ① 福光プール自動滅菌装置取替工事《新》
- ② 城端温水プールろ過タンク取替工事《新》
- ③ クレー射撃場トラップピット屋根跳弾防止塗装工事《新》
- ④ 福光総合グラウンド補修工事《新》
- ⑤ 桂湖ボート場設備修繕工事《新》
- ⑥ たいらくロスカントリー場コース改修工事《新》

4 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

(1) 文化・歴史遺産の保存と活用

- ① 指定文化財等の適切な保存・活用と普及啓発の推進
- ② 古文書などの歴史資料や民俗文化財、埋蔵文化財の保存と調査・活用の推進
- ③ 合掌造り家屋等茅葺き建造物の屋根葺替え等修理事業の実施
- ④ 地域の貴重な建造物の保存と活用のため、国の登録文化財制度を活用

- ⑤ いなみ国際木彫刻キャンプ開催への支援《新》

(2) 文化財収蔵・展示施設の機能充実

- ① 埋蔵文化財センター展示の充実、体験学習会の開催
- ② 民俗文化財保管施設の充実

5 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実

(1) 幼児教育・保育サービスの充実及び支援

- ① 保育園・認定こども園等における教育・保育の量の確保及びサービスの充実
- ② 子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の計画的な実施（子ども・子育て会議の開催）
- ③ 子どもや保護者等を支援するための保育士研修の充実
- ④ 保育士・看護師等の人材確保
- ⑤ 健やかな保育環境の確保のための施設・設備修繕、備品購入等
- ⑥ 保育園防犯カメラ設置工事（城端さくら・山野・井口保育園）《新》
- ⑦ 私立保育園・認定こども園等への支援の充実（施設型給付の支給、特別保育事業への支援、私立認定こども園福野青葉幼稚園改築整備事業への支援）

(2) 児童の居場所づくりの推進

- ① 児童館事業の充実
- ② 児童館及び放課後児童クラブの施設・備品の充実
 - ・福野児童センター「アルカス」駐車場増設工事《新》
 - ・福光児童館「きっずらんど」外壁塗装工事《新》
 - ・アルカスのびのびひろば移設及び備品購入《新》
 - ・福光中部っ子クラブ室改修及び備品購入《新》
- ③ 地域主体の学童保育への財政支援

6 子どもへの喜びや生きがいを持てる子育て家庭への支援

(1) 子育て支援サービスの充実

- ※① なんとで育児 and 育自（子育て交流サロン）の実施（子育て支援センターの充実）
- ② ファミリー・サポート・センター事業の拡充
- ※③ 保育料等軽減事業（第3子以降の保育料無料化や各種の保育料軽減（多子軽減、三世代同居軽減）等による経済的支援）
 - ④ 移住定住世帯の保育料無料化
- ※⑤ 認可外施設に通う子どもにかかる利用料支援
- ※⑥ こども医療費助成制度等の拡充
- ※⑦ 出生祝い金制度の実施
- ⑧ 児童手当等の給付
- ※⑨ 南砺の三人っ子政策の拡充（中学生から大学生までの範囲で兄弟姉妹が2人以上いる高校生を対象とした医療費や通学定期補助の支援）
 - ⑩ 子育て応援制度（なんと！やさしい子育て応援企業認定制度）の実施
 - ⑪ 子どもの貧困支援の推進

(2) 児童・子育て家庭相談の充実

- ① 発達障がい児や特別な支援が必要な子の専門的な支援の充実（訪問、個別相談会、教室・講座の開催）
- ② 女性・こども相談室やわらび学園等関係機関の専門の相談員による支援体制の充実

- ③ 要保護児童等の早期発見や適切な保護、未然防止を図るための要保護児童対策地域協議会の開催

(3) ひとり親家庭の自立支援

- ① 修学資金・福祉資金等の貸付制度の周知徹底
- ② 自立支援等に関する随時相談の実施
- ※③ 子育て応援制度（ひとり親家庭への入学祝い金（小・中・高）の支給及び高校生通学定期券補助）の実施
- ※④ 母子家庭等就業・自立支援事業の実施
- ⑤ ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業の実施《拡充》

(4) 親の育成

- ① 次代の親の育成のため保育園・児童館等でのボランティア活動の受入促進
- ② 子育て支援センター等における子育て教室・講座の開催
- ※③ イクメン応援事業（夫婦が家庭で家事・育児をする意識の啓発及びイクメンを育成する講座の開催）

Ⅶ 平成30年度 計画の体系と評価

南砺市教育振興基本計画（H27.3 策定 H28.10改定）

【基本理念】 未来を切り拓く南砺の人づくり

基本目標	No.	基本施策	評価	担当課
1 豊かな心を育む学校教育の充実	(1)	確かな学力の育成	A	教育総務課
	(2)	自他を尊重し、他を思いやる心の育成	B	
	(3)	健やかな体の育成	A	
	(4)	学校教育環境の整備	A	
2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	(1)	生涯学習活動の推進	A	生涯学習
	(2)	公民館活動への支援	A	スポーツ課
	(3)	青少年健全育成活動への支援	A	
	(4)	生涯学習施設の整備・充実	A	
3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進	(1)	各種スポーツ大会・教室の開催	B	生涯学習
	(2)	スポーツ活動への支援	B	スポーツ課
	(3)	体育施設の効率的な管理・運営体制の確立	A	
	(4)	社会体育施設の整備・充実	A	
4 魅力ある芸術文化活動の振興	(1)	「文化芸術振興プラン」の推進	B	文化・
	(2)	芸術文化活動への支援	B	世界遺産課
	(3)	文化ホール・美術館などの事業の充実	A	
5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	(1)	世界遺産マスタープランの推進	A	文化・
	(2)	文化財収蔵・展示施設の機能充実	B	世界遺産課
	(3)	文化・歴史遺産の保存と活用	B	
6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	(1)	幼児教育・保育サービスの充実及び支援	A	こども課
	(2)	児童の居場所づくりの推進	A	
7 子どもへの喜びや生きがいをもたらす子育て家庭への支援	(1)	子育て支援サービスの充実	A	こども課
	(2)	児童・子育て家庭相談の充実	A	
	(3)	ひとり親家庭の自立支援	B	
	(4)	次世代の親の育成	A	

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(1) 確かな学力の育成		
主な取組	① 幼・保・小連携事業の推進 ② 小中連携事業の推進 ③ 少子化に対応した活力ある学校づくり ④ 情報活用能力の向上 ⑤ 確かな学力の育成 ⑥ 教員の資質・指導力の向上 ⑦ 教育の機会均等		

イ 主な指標（達成度）

項目	小中	前年(H29)	目標値(R1)	達成度	参考値(H29)	
					国	県
授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていると回答した児童生徒の割合	小学生	82.1%	95.0%	0.86	88.2%	87.7%
	中学生	90.5%	95.0%	0.95	87.8%	89.5%
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した児童生徒の割合	小学生	80.1%	85.0%	0.94	76.1%	77.4%
	中学生	73.5%	85.0%	0.86	66.1%	65.0%
項目	小中	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	参考値(H30)	
					国	県
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童生徒の割合	小学生	74.9%	80.0%	0.94	76.7%	77.0%
	中学生	72.7%	80.0%	0.91	73.8%	74.2%

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

全国学力・学習状況調査において、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校とも全国、県の平均を下回った。

「とやま型学力向上プログラム」では、福野小学校と城端中学校を拠点校に指定し、市内外の学校等に対して公開授業等実践研究成果の普及を図った。また、市教育センターでは、外部講師を招いた研修会や講演会を開催した。

児童生徒のつまずきを解消するため、「なんとっ子まなびサポーター」の活動時間を工夫し、学習内容のさらなる定着を図るようサポートした。



幼・保・小連携の取組として、幼児期から小学校へ円滑に情報を引き継ぐため、引き続き早期支援コーディネーターを配置した。

利賀地域山村留学定住事業は、短期山村留学「源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」を実施し、県外から31名の参加があった。

エ 今後の取組と改善点

<p>全国学力・学習状況調査の結果から、小中学校とも「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいく児童生徒の育成が課題であることから、県教委や市教育センターの研修の機会を有効に利用しながら、学校における授業の改善に努めていく。</p> <p>「なんとっ子まなびサポーター」を継続して配置することにより、児童生徒のつまずきを解消し、学力の向上を図る。</p> <p>山村留学定住事業では、夏季の他に冬季の短期留学を実施し、さらに利賀の魅力を発信しつつ、参加者のニーズや動向を注視しながら長期留学の制度設計を進める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
とやま型学力向上プログラム	<p>【研究課題】人・もの・こととの関わりの中で、学びを深める児童の育成</p> <p>【実施校】福野小学校（平成 29～30 年度）</p> <p>【研究課題】主体的に確かな学力を身に付けようとする生徒の育成</p> <p>【実施校】城端中学校（平成 30～31 年度）</p>	400
市単独講師の配置	<p>小学校 2 人（井口・利賀）</p> <p>中学校 1 人（平）</p>	7,070
外国語指導助手（ALT）の配置	<p>外国語指導助手 8 人 （JET 3 人、委託 5 人）</p> 	36,859
なんとっ子まなびサポーターの配置	<p>小学校 10 人 中学校 9 人</p>	14,086
標準学力検査（NRT）の実施	<p>小学校 5 学年 4 教科×391 人</p> <p>中学校 1 学年 5 教科×421 人</p>	1,250
小中学校教育用電子黒板整備事業	<p>電子黒板 24 台（小学校 8 校：20 台、中学校 2 校：4 台）</p> <p>電子黒板用パソコン 24 台</p> <p>オフィスソフトライセンス 24 ライセンス</p> <p>タブレット PC 40 台（城端中、井波中、各 20 台）</p>	34,560
教育セミナー（教職員研修事業）	<p>南砺市教育センター主催の教育研修事業として実施</p> <p>【名称】学級づくり研修</p> <p>【実施日】平成 30 年 8 月 20 日【受講者】46 人</p>	59
山村留学定住事業	<p>短期山村留学「源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」の実施</p> <p>南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会の開催</p> 	4,722
早期支援コーディネーター配置事業	<p>早期支援コーディネーター 2 人 （内 1 名 兼スクールアドバイザー）</p>	2,044

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(2) 自他を尊重し、他を思いやる心の育成		
主な取組	① ふるさと学習の推進 ② いじめの根絶 ③ 特別な支援を必要とする児童生徒への支援 ④ 読書活動の奨励 ⑤ キャリア教育の推進		

イ 主な指標（達成度）（学校図書館の貸出冊数は児童・生徒一人当たり）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	市立図書館での貸出冊数(外数)
学校図書館月平均貸出冊数(小学校)	5.0 冊	4.3 冊	8.0 冊	0.52	1.6 冊
学校図書館月平均貸出冊数(中学校)	0.4 冊	0.4 冊	2.0 冊	0.20	0.3 冊
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小学生 74.2% 中学生 71.1%	小学生 83.4% 中学生 81.3%	小学生 80.0% 中学生 80.0%	1.04 1.02	



ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>ふるさと教育推進事業では、各小中学校が「なんとの日」など、郷土の理解を深める活動に取り組み、井波小学校6年生が「わたしたちのふるさとの未来を考える」について、福光中学校1年生が「南砺市のこれから」をテーマに「私たちの願い」を具体化した提言を行った。</p> <p>児童生徒のいじめの防止等に関係する機関、団体等の連携を図るため、南砺市いじめ問題対策連絡会議を2回開催し、いじめの現状等について意見交換を行った。また、南砺市いじめ防止基本方針を改定し、引き続き南砺市一体となって、いじめ防止等の対策に取り組む事とした。</p> <p>不登校が長期化しないよう、適応指導員によるアウトリーチやスクールソーシャルワーカーによる巡回、各種相談会の開催、適応指導教室における個別支援に努めた。特別支援教育コーディネーターは、学校の要請に応じて機動的に支援を行った。また、複数で対応することにより正確な見立てをし、効果的な指導助言を行うことに努めている。</p> <p>学校図書館貸出冊数については、依然として目標値とは開きがあり、小学校・中学校ではやや低下した。日常的に読書に親しむ児童生徒の育成が課題である。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>ふるさと教育推進事業は、小学校1校、中学校1校が、ふるさとについて学習・体験したことをもとに、地域の伝統や自分たちの思い、未来の南砺市発展のための提案を校内で市長に行う。市長が学校へ出向いて提言を聞くことで、より多くの児童生徒も一緒に学ぶことができる。</p> <p>改定した南砺市いじめ基本方針及び南砺市いじめ対策防止パンフレット内容を児童生徒及び保護者への周知を図るとともに、いじめの根絶に向けて取り組んでいく。</p> <p>複雑化する様々な学校の問題に対し、解決の支援を行うための専門職員であるスクールアドバイザーを引き続き配置する。</p> <p>児童生徒が興味のある分野やこの年代に是非読んで欲しい本を積極的に購入し、図書室へ足を運んで手にとって借りたくなるような、読書に親しみやすい環境づくりを進める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ふるさと教育推進事業	<p>【目 的】 ふるさとを愛し誇りに思う心を育成 【実施期間】 4月2日～3月26日 【事業内容】 地域の講師を招聘した、体験的な学習活動や地域の特性を生かした学習活動等 【交 付 金】 8万円を基準とし、学級数に応じて加算</p>  	1,992
子どもいじめ防止対策事業	いじめ問題対策連絡会議委員 11人 子どもいじめ防止対策基本方針検討委員 11人 家庭用いじめ防止対策リーフレット作成	439
スクールカウンセラー配置事業（県事業）	臨床心理士等の資格を有する者を一部の小学校と全中学校に配置しカウンセリングを実施 小学校 9校 中学校 8校	予算計上なし
スタディ・メイトの配置	スタディ・メイト 52人 小学校 7校 中学校 5校	57,159
適応指導員の配置	適応指導員 15人 小学校 5校 中学校 6校	11,540
地区相談会事業	乳幼児から成人まで、本人、保護者、学校等関係者からの相談事業を実施 【実施回数】 18回 【相談件数】 17件	23
教育相談のつどい	大学准教授、臨床心理士による個別相談を実施 【実施回数】 大学准教授、臨床心理士 8回	192
適応指導教室	適応指導教室「いおう教室」運営費	3,882
スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーター活用事業	教員、特別支援学校教員の資格を有する者を教育センターに配置し相談を実施 スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーター 3人	5,496
社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	事業所数 162社 参加生徒数 395人	1,530
学校図書館司書助手の配置	学校図書館司書助手 17人 小学校 9校 中学校 8校	5,674

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(3) 健やかな体の育成		
主な取組	① 望ましい食習慣の形成 ② 体力・運動能力の向上や部活動の支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	参考値(H30)	
					国	県
朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学生 96.4%	小学生 97.8%	小学生 100.0%	0.97	94.5%	96.0%
	中学生 96.2%	中学生 96.8%	中学生 100.0%	0.96	91.9%	94.1%
週に1、2日以上運動する児童生徒の割合（体育授業除く）	小学生 89.0%	小学生 90.0%	小学生 95.0%	0.95	/	
	中学生 86.0%	中学生 84.1%	中学生 95.0%	0.89		


ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
A	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
	<p>朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、小中学校とも全国、県平均を上回っている。週に1、2日以上運動する児童生徒の割合については、平成29年度に比べ、小学校は1ポイント増加し、中学校は2ポイント減少した。</p> <p>市内の小中学校では、11月の1週間を「な〜んと！おいしい学校給食週間」に設定し、南砺市産の地場産物を多く取り入れた献立を実施した。地場産物を給食に取り入れることで、地域の食材や郷土料理への関心を高め、食を通じて郷土を大切にす気持ちや生産者への感謝の気持ちを育むことをねらいとしている。</p> <p>児童生徒の健康診断結果を基に、適正な指導で疾病予防等に取り組んだ。</p> <p>南砺市中学校部活動ガイドラインを策定し、適切な練習時間や休養日を設定するとともに、部活動指導員を配置し、顧問教員の部活動指導に係る負担を軽減した。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>給食だよりを活用し朝食の欠食、偏食・孤食などの防止を積極的に広報する。食育月間を通して、しっかり噛んで食べることを身につける取組を実施し、各家庭で食事や食育について考えてもらえるよう親子会食を引き続き実施する。</p> <p>南砺市地場産食材活用推進協議会と連携して地場産食材を積極的に活用し、食を通じて、生産者への感謝や地域の理解を深め、郷土料理など食文化の継承を図る。</p> <p>学校部活動の充実や生徒の体力向上のため、スポーツエキスパート派遣事業を引き続き行い、南砺市中学校部活動ガイドラインに基づき、生徒にとって望ましい環境を構築する。また、部活動指導員を増員し、顧問教員の部活動指導に係る負担の軽減を図るとともに、生涯学習スポーツ課や市内スポーツクラブ等とも連携し、スポーツ少年団からの継続的な指導体制を整える。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
各種大会参加補助金	国、地方公共団体または学校体育団体、学校文化団体及びこれらと関連する公的団体が主催または共催、後援する大会への参加補助金 小学校 46件 中学校 145件	16,020
生徒児童の健康診断に係る事業	小中学校児童生徒の健康管理のため、学校医等による健康診断を実施 尿検査、心電図検査を委託により実施	8,979
スポーツエキスパート派遣事業	学校運動部活動の充実、生徒の体力向上及び地域社会と運動部活動との連携を図るため、スポーツエキスパートを派遣 58人	3,380
部活動指導員配置事業	部活動指導員が単独で指導・引率することにより、支援体制の充実及び顧問教員の部活動指導に係る負担を軽減する。 H30年度から実施 中学校5校：各1人	1,333
なんとハートフルランチ食材購入負担金	南砺市にちなんだ「7月10日・なんとの日」に合わせて、南砺の地場産物を使った学校給食「なんとハートフルランチ」を提供 	831

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな心を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(4) 学校教育環境の整備		
主な取組	① ICTの活用 ② 学校図書館の充実 ③ 施設整備		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
小・中学校施設非構造部材耐震化率	100.0%	100.0%	100.0%	1.00	
小・中学校トイレ洋式化率	73.3%	75.0%	86.5%	0.87	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>小規模校の教育上の課題を克服するため、学校同士をネットワーク回線で結び、ICT機器を活用した遠隔協働学習を行った。小学校では国語科と算数科の2科目と外国語活動、児童会活動で実施し、中学校では国語科、社会科、数学科の3科目と道徳、生徒会活動で実施した。年度ごとに学習する科目を増やしており、遠隔協働学習の積み重ねにより、多様な考えに触れることで自己の考えが広まったり深まったりした。</p> <p>平成27年度に着手した井波小学校大規模改修工事、平成28年度に着手した井波中学校長寿命化工事を継続実施するとともに、平成29年度からは福光中部小学校の長寿命化工事にも着手している。</p> <p>小中学校のトイレ洋式化率は、大規模改修及び長寿命化改修と合わせて整備を進めているため、平成29年度と比較して増加している。安全・安心に快適に過ごせる学校環境の整備は大規模改修等に合わせて実施していく。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>ICT遠隔協働学習では、適切な年間計画を立案し、公開授業などを通じて遠隔協働学習の課題を整理する。ICT支援員との連携を深めながら教員全体のスキルアップを図り、遠隔協働学習が特別な授業ではなく、負担を感じずに普段と同じ授業として行えるように日常化を推進する。まずは全ての授業者が少なくとも1回以上の遠隔協働学習を実施できるようサポートする。</p> <p>引き続き、学校施設の大規模改修、長寿命化を実施すると共に、小中学校にエアコンを設置し、エレベーターの設置やトイレの洋式化等のバリアフリー化を推進する。</p> <p>小・中学校施設非構造部材耐震化率は100%を達成したので、今後はICT機器整備推進のため、大型掲示装置（電子黒板）設置率の向上を目指す。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ICT遠隔協働学習事業（上平小、利賀小、井口小、平中、利賀中、井口中）	遠隔授業システム機器リース（4/5年目） 遠隔協働学習実証事業検証委託 ICTサポート業務委託 	11,918
小学校図書館図書整備事業	学校図書館図書購入 3,091冊	4,996
中学校図書館図書整備事業	学校図書館図書購入 2,208冊	4,247
小中学校空調設備設置工事実施設計業務委託	【設計概要】 小学校6校、中学校5校 空調設備 一式	26,506
福光中部小学校長寿命化改修（第2期）工事	【工事概要】 普通教室棟 長寿命化改修 一式	425,821
福光中部小学校長寿命化改修（第3期）工事 実施設計業務委託	【設計概要】 管理・特別教室棟 長寿命化改修 一式	24,948
小学校防犯カメラ設置工事	【工事概要】監視カメラ設置 一式 （常時監視）小学校5校、中学校2校 （記録監視）小学校7校	14,083
井口小学校ブロック塀改修工事	【工事概要】 ブロック塀改修 一式	3,942
井波中学校ブロック塀改修工事	【工事概要】 ブロック塀改修 一式	8,076

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 生涯学習活動の推進		
主な取組	① 講座・講演会の開設・開催 ② 図書館サービスの充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
学習活動を行っている市民の割合	25.1%	20.4%	30.0%	0.68	
各種講座参加者数	9,013 人	9,194 人	12,000 人	0.77	
年間図書貸出冊数	7.0 冊／人	7.0 冊／人	7.4 冊／人	0.95	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	市民大学講座の「ふるさとを巡る」「大人のための企業・店見学」などの実際に現地を訪れ、歴史や県内のものづくりについて学ぶ講座は、毎回定員を大幅に上回る申込があり、市民の関心が高い講座となっている。 子供体験活動では、親子で参加できる教室として「カヌー&ボート教室」、今年度から新たに「世界に1つだけの器を作ってみよう！」を実施し、大変好評であった。 放課後子ども教室・土曜学習推進事業では、市内11か所において地域住民と連携し、平日の放課後や週末に学校の体育館、グラウンド、公民館、自然等を活用し、文化・スポーツ・学習活動等を行い、延べ3,600人以上の参加があった。また、平成29年度から中学3年生を対象に学習支援事業を実施。大学生が学習支援員となり、延べ105名が参加して、高校受験に向けステップアップが図られる取り組みとなった。 市民のニーズに対応した図書館づくりのため、図書等のリクエストの随時受付、県内外の図書館との相互貸借制度を活用した。また、親子で楽しめる県内唯一の「絵本ライブ」は大変好評で、前年度比1.1倍の269名の参加があった。

エ 今後の取組と改善点

市民大学講演会、市民大学講座、緑の里講座については、アンケート調査の結果等を参考に若年層にも支持してもらええる企画の見直しやこれまで講座を受講したことのない市民に向けての告知・PRの強化を行い、新規の参加者が増加するよう努める。また、毎回抽選となる人気の講座に関しては、できるだけ多くの市民に参加してもらええるよう、講座の回数や定員など講座内容の検討を行っていく。 年間図書貸出冊数の目標値達成に向けて、今後も広報活動、館内展示の工夫、利用者のニーズに対応した資料整備等に努める。また、中学校への移動図書館や高校との連携事業をさらに推し進め、中高生の利用拡大を図る。
--

オ 主な事業

事業名		事業費 千円
市民大学講座の開設	<p>高い専門的知識を持つ講師による講座や技能の向上を目的とする講座を開設</p>  <p>南砺市民大学講座 11講座 申込者397人</p>	1,876
市民大学講演会の開催	<p>さまざまな分野の著名な講師を招き、文化教養講演会を開催</p> <p>市民大学講演会 1回</p> <p>演題 「トークと朗読＋音楽の時間」 講師：紺野美沙子氏（俳優） 共演：中村由利子氏（作曲家／ピアニスト）</p> 	1,003
高齢者大学の開設	<p>高齢者が自らの生活に生きがいを見出すため、教養・趣味・技術等を楽しく学習できる機会の提供</p>  <p>緑の里講座 18回開催 地区高齢者学級 18学級</p>	1,259
子ども体験活動の開催	<p>たくましい体と心豊かな子供を育成することを目的にさまざまな体験活動を開催</p> <p>子ども伝統芸能塾「城端、平、上平地域における伝統文化教室」 申込者73人</p> <p>週末子ども文化塾「陶芸、ロボット工作の週末文化教室」 申込者82人</p> <p>チャレンジ自然塾「スターウォッチング・乗馬体験・カヌー&ボート教室の自然体験活動」 申込者312人</p> 	898

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) 公民館活動への支援		
主な取組	① 公民館の自主的な活動の支援 ② 公民館職員の資質の向上		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(H31)	達成度	備考
年間延利用人数	162,558 人	156,055 人	170,000 人	0.92	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	公民館活動は、地区公民館活動交付金を利用し、地域独自の活動の充実が図られている。 平成 28 年度から「社会教育推進大会」において、全 31 公民館の活動パネル展示を行い、多くの方に各公民館の行事や活動について広く紹介し、知ってもらう機会を設けた。 県の委託事業である「親子で高志の国探検事業」では、11 公民館が実施し、身近な自然や歴史・文化を体験し学ぶことで、多くの参加者がふるさとへの愛着を深めた。 市の公民館職員研修会を年 2 回実施し、他地区の公民館職員同士の情報交換や交流を深めるよい機会となった。また、砺波地区・県の公民館連合会が開催する研修会に参加することにより、公民館職員の資質の向上が図られた。

エ 今後の取組と改善点

小規模多機能自治移行に伴い公民館連合会は解散するが、新たに生涯学習連絡協議会を設立し、引き続き地域の生涯学習活動を支援していく。
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>地区公民館活動の支援</p>	<p>地域の活動拠点となっている全 31 地区公民館に活動交付金を交付</p> <p>【交付金】 1 公民館当たり 50 万円を基本として、世帯数により加算交付</p>	<p>18,600</p>
<p>南砺市公民館連合会 研修事業の開催</p>	<p>自ら企画・立案・実施できる公民館職員の育成 公民館職員研修会 2 回 各種研修会、大会参加 11 回</p> <p style="text-align: center;">市公民館連合会研修会</p>  <p style="text-align: center;">市公民館職員研修会</p> 	<p>103</p>

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための 生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) 青少年健全育成活動への支援		
主な取組	① 地域に密着した活動の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
街頭巡回指導回数 (8支部計)	249回	162回	180回	0.9	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

青少年育成南砺市民会議の8支部（城端・平・上平・利賀・井波・井口・福野・福光）に交付する補助金を利用し、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っている。学校、PTA、地域の諸団体と連携し、地域イベントなどでの巡回指導、あいさつ運動、青少年育成講演会等、地域に密着した活動を実施した。

子育て講座事業では、市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の26か所で40講座を開催し、2,600人を超える参加者が家庭教育における子育ての課題や悩みの解消について学習した。子供の接し方を振り返る良いきっかけとなった、グループワークを通して色々な意見を聞いて良かった、などの声が寄せられた。

エ 今後の取組と改善点

<p>今後も家庭教育の向上を図るとともに、少子化等の問題に対処するために、保護者に対するきめ細やかな家庭教育支援の取り組みを推進する。</p> <p>また、スマートフォン等の情報ネットワーク機器の普及により、子どもや若者を取り巻く環境は大きく変化し、健全な育成の阻害要因となっている事例が見受けられる。青少年が明るく健康でたくましく成長できるよう、引き続き各支部との連携を強化し、更に地元と密着した活動の支援を行う。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
青少年育成市民会議への支援	<p>各支部の青少年健全育成活動を支援するため補助金を交付（8支部） 城端・平・上平・利賀・井波・井口・福野・福光</p>  <p style="text-align: center;">福光支部 あいさつ運動</p> <p>【主な活動内容】</p> <p>城端支部 街頭巡回指導（曳山祭、むぎや祭） 夏休み子ども居場所づくり</p> <p>平 支部 親子ふれあい活動 朝の挨拶運動（小学校・中学校・高校）</p> <p>上平支部 巡回指導</p> <p>利賀支部 21世紀を担う利賀青少年の集い</p> <p>井波支部 青少年育成講演会 「子ども110番の家」ウォークラリー</p> <p>井口支部 青少年健全育成に関する標語募集</p> <p>福野支部 ふくの少年ハーティークラブ活動 「子ども110番の家」ウォークラリー</p> <p>福光支部 家庭の日・非行防止標語募集 あいさつ運動・善行表彰</p>	850
子育て講座事業への支援	<p>市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校で開催される家庭教育学級や講座について、講師の謝礼経費を助成（1か所 15,000円を上限）</p> <p style="text-align: center;">子育て講演会</p> 	227

ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための 生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(4) 生涯学習施設の整備・充実		
主な取組	① 改修・耐震工事の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
耐震補強の必要な公民館数	0 館	0 館	0 館	1.00	全公民館 H28 で耐 震化完了

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

主な生涯学習施設の改修工事として、井波総合文化センターの照明設備等更新工事、城端伝統芸能会館の舞台音響設備改修工事、南蟹谷公民館の駐車場舗装打換工事を行った。また、地区自治振興会より利活用要望があった旧北山田保育園において、公民館の付帯施設として利用する上で必要と認められる内装及び外構の改修工事を行った。

所管する施設の老朽化した建築設備や建物の内外装を修繕・更新することで、施設の性能保持を図った。

エ 今後の取組と改善点

<p>平成 31 年度の主な生涯学習施設の改修工事として、福野文化創造センターでは、空調用冷却塔更新工事、消防用設備等改修工事を行い、施設の長寿命化を図る。井波総合文化センターでは、受水槽塗装修繕工事、樹木撤去工事を行い、利用者の安心・安全を確保する。城端伝統芸能会館では、平成 30 年度に引き続き舞台音響設備改修工事を行い、施設の機能性・利便性を向上させる。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
井波総合文化センター 照明設備等更新工事	<p>【工事概要】 照明設備更新 1式 エイトホール及び視聴覚室の音響設備更新 1式</p> 	17,088
城端伝統芸能会館 舞台音響設備改修工事	<p>【工事概要】 ミキサー更新（2台）、プロセッサー更新（1台） 既設機器撤去、配線引直し</p> 	9,828
南蟹谷公民館 駐車場舗装打換工事	<p>【工事概要】 舗装打換 A = 7 6 4 m²</p> 	3,657
旧北山田保育園 内装及び外構改修 (設計・工事)	<p>【工事概要】 トイレ改修（児童用トイレ→大人用トイレ） 舗装工 A = 9 1 0 m²</p> 	23,837

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 各種スポーツ大会・教室の開催		
主な取組	① 市民スポーツの振興 ② 競技会の開催 ③ 指導者のレベル向上		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
総合型地域スポーツ クラブ加入率	18.6%	17.9%	20.0%	0.89	目標値を変更 (H29 年度総 合計画後期基 本計画改訂版 に基づく)

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>運動好きな子どもの育成と体力向上を図るため、「なんと元気っ子教室」を市内12の保育園で延べ41教室を開催した。運動遊びを通して基本的な動きの獲得につながるよう、様々な遊びを子どもたちに実践させ、保育士にも遊びの効果等について解説した。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ加入率は、県内の自治体に比べ高い水準を保っているが、前年度から低下しており、運動による健康づくりや体力づくりの重要性を周知するとともに、市民ニーズを的確に把握し、ニーズに応じた教室メニューを提供する必要がある。</p> <p>市民のスポーツ人口拡大を目指して開催した「チャレンジデーin なんと」は、参加率が52.5%で、自主的にスポーツに親しむ意識の喚起につながっており、市民の半数以上が参加する一大イベントとして定着している。しかし、参加率がほぼ横ばいで推移しており、誰もがもっと気軽に参加できる企画を検討する必要がある。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運創出や競技スポーツに触れる機会を提供するため、市体育協会等と連携し、小椋久美子バドミントン教室を開催し、ジュニア層を中心に大勢の市民の参加を得た。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が指導者講習会を延べ6回開催するなど、各体育団体で定期的にスポーツ指導者の研修会等を開催した。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>なんと元気っ子教室を通じ、保育園や家庭において、子どもたちが日々の生活の中で自然と運動遊びに親しめるよう取り組む。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催機運創出も踏まえ、市民が自らスポーツに取り組むきっかけとなるよう、各種スポーツイベントや教室等を開催する。新たなスポーツニーズに対応できるよう、スポーツ指導者やスポーツ推進委員等のスキルアップを目指し、講習会等を開催する。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>なんと元気っ子教室の開催</p>	<p>市内幼稚園・保育園に総合型地域スポーツクラブの指導者及び派遣スポーツ主事を派遣し、運動教室を開催。 12園で延べ41教室</p> 	<p>137</p>
<p>「チャレンジデー in なんと」の開催</p>	<p>スポーツ人口の拡大と運動に対する意識の喚起 参加者数 27,173人 参加率 52.5%</p> 	<p>700</p>
<p>「スポレクデー in なんと」の開催</p>	<p>誰もが気軽に取り組める運動機会や健康づくりを提供 市内4箇所で開催 参加者数 1,606人</p> 	<p>210</p>
<p>全国大会等開催補助 「JOCジュニアオリンピックカップ大会」</p>	<p>ジュニア層を対象としたスポーツライミング競技大会への補助 出場選手 209人 (参加資格 11歳～19歳まで)</p> 	<p>1,600</p>
<p>小椋久美子バドミントン教室の開催</p>	<p>東京オリ・パラ機運創出、ジュニアの競技力向上を目指し、一流アスリートからの指導を受ける機会を提供 参加者数 213人</p> 	<p>1,045</p>
<p>市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動支援</p>	<p>指導者育成事業等への補助 指導者講習会 延べ6回</p> 	<p>250</p>

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) スポーツ活動への支援		
主な取組	① 少年のスポーツ活動の支援 ② 地域スポーツ活動への指導・助言 ③ 全国大会等参加選手への支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
スポーツを行っている市民の割合	40.0%	40.3%	50.0%	0.81	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>市体育協会の補助金交付を通じて、各競技の競技力向上と少年スポーツの活動支援に努めている。スポーツ少年団の加入者は836人を数え、うち小学生は727人で、加入率は32.7%となり、前年度より若干低下したものの、依然として県内でも高い加入率を維持し、活動も熱心に行われている。主な指標の数値が昨年の40.0%から本年40.3%と0.3ポイント改善したが、目標値との開きが大きく、引き続き市民のスポーツへの取り組みを促進することが重要である。</p> <p>スポーツ推進委員は地域・地区におけるスポーツの指導や助言、スポーツイベントの企画運営にも参画し、市のスポーツ振興に寄与している。特に、委員が各種研修会で習得したことを地域のスポーツイベントや広報等を通じて、市民に指導・紹介する還元的な活動に努めている。</p> <p>法人格を有さない総合型地域スポーツクラブには、自立した運営ができるように支援しているが、地域人口の減少により、会員数が減少し活動が縮小しているクラブがある。</p> <p>全国及び北信越等の大会に出場する個人または団体に対して激励金を交付し、助成を通して競技力の向上につながるよう支援している。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>今後も市体育協会や各競技団体等と協力し、競技力の向上に努める。</p> <p>健康・医療部局とも連携し、イベントや講習会などを通じて、健康づくりに運動がもたらす効果・効用を周知し、スポーツを始めるきっかけづくりに努める。</p> <p>スポーツ推進委員には、市民とスポーツをつなぐ役割を果たすことができるよう研修の機会を提供するとともに、研修の成果を積極的に市民に還元する機会を設けていく。</p> <p>山間地域のスポーツクラブは、地域住民が少なく自立的な運営が難しいため、今後も財政支援や他の団体との連携が重要である。</p> <p>スポーツ大会の種目や競技内容が多様化しており、それに合致した激励金交付の詳細な基準づくりの検討が必要である。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
市体育協会活動支援	協会事務局・各競技協会への補助 スポーツ少年団の育成、競技力の向上 地域スポーツ振興への補助 	38,000
市スポーツ推進委員協議会活動支援	スポーツ推進委員 75 人への報酬・各種研修会負担金等 	2,929
総合型地域スポーツクラブ活動支援	子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室及びイベント等への補助 	4,990
全国大会及び北信越大会等出場者支援	全国大会及び北信越大会等出場者へ激励金を支給 団体・個人 465件 	3,545

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) 体育施設の効率的な管理・運営体制の確立		
主な取組	① 指定管理者による適切な管理		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
年度内スポーツ施設利用延べ人数	58 万人	56 万人	54 万人	1.04	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	指定管理者制度の導入により管理運営を行っている社会体育施設は、体育館 17、屋内グラウンド 2、グラウンド 2、野球場 2、プール 2、テニスコート 4、ゲートボール場 2、その他施設 4 の合計 35 施設である。 主要な社会体育施設は、各地域のスポーツクラブが指定管理者となり管理運営を行っており、簡易な施設修繕や緊急を要する施設の修繕なども指定管理者が行い、安全で快適な施設の利用環境の維持に努めている。 クラブでは地域と密着したスポーツ活動や各種教室等を開催するなど、クラブ会員増加につながるよう、魅力ある事業の企画実施に努めている。また、市事業の一端を担うソフト事業も実施し、施設の利用促進とともに生涯スポーツの推進にも寄与している。 さらに、市民のニーズに応じて、学校体育施設の開放も併せて実施し、市民の運動促進の機会提供を図っている。

エ 今後の取組と改善点

引き続き各施設の適正な維持管理の遂行と計画的な修繕について指定管理者と協議し、実施していく。施設を利用する市民へのアンケート等で把握できたニーズに対応できるよう、指定管理者と協議し、管理運営についての改善策を検討する。 体育施設や附帯する設備機器の経年劣化に伴い、修繕案件が増えていることから、指定管理者に施設・設備の状況について確認を取り、計画的に修繕や更新を進めることが重要である。 今後、主要体育施設の利用条件の見直しを含め、住民サービスの向上につながる体育施設の管理運営について、指定管理者であるスポーツクラブと協議・検討を進める。
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
体育施設指定管理委託 (体育館、テニスコート、プール、グラウンド、クレ射撃場、その他)	指定管理者による施設の維持・管理・運営	
	NPO法人ふくのスポーツクラブ 1 1 施設 (福野体育館、旅川体育館等)	46,170
	NPO法人福光スポーツクラブ 3 施設 (福光体育館、福光西部体育館等)	25,724
	NPO法人アイウェーブ 5 施設 (井波社会体育館、東洋紡野球場等)	26,852
	NPO法人クラブ Joy 9 施設 (城南屋内グラウンド、城端西部体育館等)	35,193
	水口造園(株) 2 施設 (福光里山体育館、福光里山テニスコート)	4,790
	医王アローザ(株) 1 施設 (城端温水プール)	17,946
	医王アローザ(株) 3 施設 (福光屋内グラウンド、福光プール等)	57,930
庄川自動車(株) 1 施設 (クレ射撃場)	0 (指定管理料なし)	
	合計 3 5 施設	
学校体育施設の開放事業	小学校開放 9 校 開放回数 2, 1 6 0 回 中学校開放 6 校 開放回数 1, 9 5 0 回	予算計上なし

ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(4) 社会体育施設の整備・充実		
主な取組	① 改修・耐震工事の実施		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
耐震補強の必要な 体育館数 (全体育館数 17 館 の内残り 5 館)	5 施設	5 施設	5 施設	1.00	対策を必要とする体育館残数が目標値

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

市内社会体育施設で築 20 年以上経過した建物は、指定管理者からの報告や現状確認により、計画的な改修に努めている。また、自然災害等により緊急に修繕が必要となったものは、補正予算で修繕を行っている。

平成 30 年度においては、福野 B&G 海洋センター屋根等改修工事や福光プール外壁等補修工事、城南テニスコート修繕工事、福光総合グラウンド補修工事、桂湖ボート場設備修繕工事等を行った。井波社会体育館では、経年劣化で使用できなくなったエアロバイクを更新した。計画していた社会体育施設における整備事業は概ね順調に実施できた。

施設の経年劣化に伴い、自然災害以外の急を要する修繕案件の発生が増えており、施設の運営に支障が出ないように、迅速に対応しなければならない。

エ 今後の取組と改善点

<p>建物や設備の老朽化が進んでいる社会体育施設については、利用者の安全・安心の確保、利便性の向上のため、計画的に必要な改修・修繕を行う。</p> <p>令和元年度では、福光体育館の耐震改修に向けた設計業務を行い、また、城南スタジアム防水工事や福光プールろ過装置改修工事等を実施する。</p> <p>多額の予算を必要とする社会体育施設の耐震補強や大規模改修工事については、公共施設再編計画を踏まえ、将来的な施設配置を検討しながら、計画的に進めていく。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
福野B&G海洋センター屋根等改修工事	<p>【工事概要】 設計業務委託 1式 屋根塗装塗替え 796 m²、屋根カバー工法改修 841 m²、 受変電設備更新 1式</p> 	20,296
福光プール外壁等補修工事	<p>【工事概要】 設計監理業務委託 1式 外壁廻りシーリング打ち替え工事 3,388m、 外壁塗装工事 356 m²、外壁クラック補修工事 27 m²</p> 	20,391
福光総合グラウンド補修工事	<p>【工事概要】 グラウンド工 表層工 A=3,110 m² 透水性機能促進工法 N=800 箇所 ブルペン工 団粒化ポリマー土壌改良材 110 m²分</p> 	6,220
井波社会体育館エアロバイク購入	<p>【備品概要】 エアロバイク 2台</p> 	778

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 「文化芸術振興プラン（基本計画）」の推進		
主な取組	① 文化芸術振興プラン（実施計画）の推進 ② TOGA国際芸術村構想の推進 ③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドの開催 ④ 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ作品の維持管理		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
積極的に文化活動を行っている市民の割合	17.0%	14.0%	17.0%	0.82	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>「南砺市文化芸術振興実施計画」に基づき、平成31年度の獅子舞共演会の開催に向けて準備を行うワーキンググループ会議（小検討会）や獅子舞団体の交流を促す獅子舞情報交換会の開催、市の文化資源を一元化した「南砺市文化芸術アーカイブズホームページ」を開設するなど、計画的かつ効率的な文化行政を推進している。</p> <p>TOGA国際芸術村構想では、平成26年度から10年計画の5年目で、他部署や地域団体との官民連携のもと計画が進められており、2019年に開催されるシアター・オリンピックスに向けて、構想の推進を図り、強化整備に努めている。</p> <p>スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドでは、会期以外にも世界の音楽に親しむワークショップやコンサートを行い、異文化交流を通じた新たな芸術文化活動にも取り組んでいる。</p> <p>4年に一度開催される南砺市いなみ国際木彫刻キャンプで制作された作品は、市内各施設や公園内等に設置され、芸術に親しむ空間となっている。屋外展示によって傷みが進んだ過去の木彫刻作品は、修繕及び防腐剤塗布を行い塗装保護に努めている。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>「南砺市文化芸術振興実施計画」に基づいて事業を推進し、「再評価・交流・人材育成による新たな文化芸術創造と地域コミュニティの振興」を目指す。</p> <p>世界に発信する利賀舞台芸術・スキヤキ・木彫刻キャンプ等の芸術活動が、文化芸術創造都市としての評価を受け、市民へも浸透し、産業振興・地域活性化に繋がっていることを実感できるよう、今後とも支援していく必要がある。また来年度には、第8回目となる国際木彫刻キャンプが開催される。新たに制作された作品の設置・保存に努める。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
「南砺市文化芸術振興実施計画」推進事業	<p>「南砺市文化芸術振興実施計画」報告会の開催 ワーキンググループ 会議 (小検討会) の開催 「南砺市獅子舞情報交換会」の開催 「南砺市文化芸術アーカイブズホームページ」の開設</p> 	2,766
利賀舞台芸術事業	<p>舞台芸術事業補助 5,200千円 世界的舞台芸術拠点づくり 推進事業 9,000千円 文化芸術創造都市事業委託 5,800千円 シアター・オリムピックス 2019 実行委員会負担金 14,500千円</p> 	34,500
「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2018」の開催補助	<p>異文化交流をテーマに毎年開催するワールドミュージックの祭典の開催補助 9,000千円 文化芸術創造都市事業委託 1,540千円</p> 	10,540
いなみ木彫刻キャンプ作品管理業務	<p>【修繕工事】 過去7回の木彫刻キャンプで制作された作品の破損箇所 の修繕および劣化作品の撤去工事</p> 	422

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 芸術文化活動への支援		
主な取組	① 美術活動の推進 ② 各地区の文化協会や団体支援		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
市美術展出品者数	301 人	306 人	400 人	0.77	
「アートで遊ぼう」の子ども参加者数	64 人	57 人	100 人	0.57	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>南砺市美術展は、出品者数の拡大のため南砺市にゆかりのある人（過去における居住、勤務、通学、現在市内での制作活動）も公募対象者としたことで、僅かであるが作品数の増加に繋がった。また、学校の協力もあり、高校生の作品が増加した。「アートで遊ぼう」は夏休み中に開催していることもあり、例年、募集定員 60 名を上回る応募でリピーターも多い。和紙漉きを体験することで伝統工芸への関心に繋がっている。</p> <p>各地区文化協会・団体等への芸術文化的支援は補助金交付等を行っており、平成 27 年度から繰越金過多の団体には減額の措置を講じて、補助金額の見直しを行っている。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>市展においては、今後も南砺市美術連合会との連携をより強化して事業に取り組む。また、作品解説の日を設け、鑑賞者にも楽しめる展覧会とする。</p> <p>「アートで遊ぼう」事業については、現在のワークショップ以外の活動も検討しながら、子ども達に創作の楽しさを教えることを継続する。</p> <p>また、団体活動については、文化協会等の活動の充実と自立性を促すよう各団体に働きかけるとともに、「南砺市補助金等のあり方に関するガイドライン」に沿って、補助金額の見直しを行う。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円																					
<p>「第 14 回 南砺市美術展」の開催</p>	<p>作品展示</p> <table border="0"> <tr> <td>招待出品</td> <td>96点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委嘱出品</td> <td>36点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般出品</td> <td>174点</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">(うち高校生32点)</td> </tr> </table> 	招待出品	96点		委嘱出品	36点		一般出品	174点		(うち高校生32点)			<p>2,015</p>									
招待出品	96点																						
委嘱出品	36点																						
一般出品	174点																						
(うち高校生32点)																							
<p>第 7 回 「アートで遊ぼう」事業 「和紙アートコンク ール in なんと」の開催</p>	<p>ワークショップ参加者 (コース別)</p> <table border="0"> <tr> <td>ちぎり絵</td> <td>37人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>切り絵</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>にじみ絵</td> <td>12人</td> <td></td> </tr> </table>  <p>参加者 (学年別)</p> <table border="0"> <tr> <td>1年生</td> <td>9人</td> <td>2年生</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>11人</td> <td>4年生</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>8人</td> <td>6年生</td> <td>4人</td> </tr> </table>	ちぎり絵	37人		切り絵	8人		にじみ絵	12人		1年生	9人	2年生	16人	3年生	11人	4年生	9人	5年生	8人	6年生	4人	<p>318</p>
ちぎり絵	37人																						
切り絵	8人																						
にじみ絵	12人																						
1年生	9人	2年生	16人																				
3年生	11人	4年生	9人																				
5年生	8人	6年生	4人																				
<p>文化協会等活動</p>	<p>市内文化協会等活動支援</p> <table border="0"> <tr> <td>城端</td> <td>130千円</td> <td>平</td> <td>1,234千円</td> </tr> <tr> <td>利賀</td> <td>398千円</td> <td>井波</td> <td>795千円</td> </tr> <tr> <td>福野</td> <td>905千円</td> <td>福光</td> <td>1,037千円</td> </tr> </table>	城端	130千円	平	1,234千円	利賀	398千円	井波	795千円	福野	905千円	福光	1,037千円	<p>4,499</p>									
城端	130千円	平	1,234千円																				
利賀	398千円	井波	795千円																				
福野	905千円	福光	1,037千円																				

ア 計画の体系

基本目標	4 魅力ある芸術文化活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化ホール・美術館などの事業の充実		
主な取組	① 美術の魅力と鑑賞の機会 ② 芸術文化活動の促進		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
文化ホール等利用者数	99,945 人	135,812 人	125,000 人	1.09	
美術館入館者数	21,486 人	20,137 人	21,000 人	0.96	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

福光美術館では、安野光雅展をはじめ、常設作家でもある石崎光瑠、棟方志功の企画展など全 7 企画展を開催した。また常設展示室は 4 回、コレクション室は 1 回の展示替えを行い、コレクション室は市展にも利用した。近隣美術館の企画展や棟方志功サミットの時期に合わせた企画展を開催することで、市内外へ美術鑑賞の機会を提供した。

井波総合文化センター、福野文化創造センター及び城端伝統文化会館 3 館の文化ホール自主事業については、実施日が重ならないよう毎年事前に調整を行っている。貸館業務については、指定管理者が使用料の割引など様々な策を講じて、利用者を減らさないように努力をしている。

エ 今後の取組と改善点

<p>福光美術館は棟方志功、石崎光瑠、南砺市ゆかりの作家の作品を収集し、展示するとともに、市展、版画年賀状展や俊英展など回を重ねる展覧会も行っている。近隣美術館や作家関連の美術館と連携し、マンネリ化しない工夫を凝らした企画展を展開していくとともに広報にも重点を置き、入館者増加に取り組む。</p> <p>各文化ホールや井波美術館が主催する自主事業・企画展については、各施設の特徴を活かした事業を展開し、入場者の増加を図るよう促していきたい。貸館の利用団体は、利用者の固定化が顕著なため、新規利用者の開拓に努めていく必要がある。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
棟方志功サミット in 南砺開催事業	<p>【来場者数延べ366名】</p> <p>棟方志功のゆかりの地の自治体の長が一同に会し、参加自治体相互の文化芸術及び経済の発展を図ることを目的とする。</p> 	1,055
福光美術館常設展	<p>【観覧者数14,106人】</p> <p>展示替え年4回</p> <p>「棟方志功サミット in 南砺」に合わせ、棟方志功作「獅子舞」(福光時代制作の油彩画 北陸銀行所蔵)を特別展示</p> 	961
福光美術館企画展	<p>【観覧者数16,430人】</p> <p>安野光雅花の世界、〈いのち〉を写す石崎光瑠の視点と表現、第4回ザ・セッション! Artの俊英展、棟方志功 広大無辺の書の世界展、第14回南砺市美術展、第17回なんと版画年賀状公募展、静謐と情熱 ジョルジュ・ルオー 版画展</p> 	13,702
棟方志功記念館 企画展	<p>【入館者 5,588人】</p> <p>花恋頌展、歡喜頌展、人恋頌展、雪恋頌展</p> 	7,812
井波美術館運営	<p>【企画展と維持管理 入館者 10,359人】</p> <p>井波の美術作家展(旧同人展)、夢奏展 2018 (Yumesanpo)、絵画展、井波の美術作家展、つくろう! 石ころアート、日本画展、美術館コンサート まちなみアート in いなみ 2018、井波美術協会展 砺波野の表具展、井波の美術作家展、瑞穂書会色紙展 いなみ小中学生アート展</p>	1,800

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 世界遺産マスタープランの推進		
主な取組	① 世界遺産の保存 ② 小中学校への啓発活動		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
コガヤ年間生産量	12,000 束	12,000 束	15,000 束	0.80	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>世界遺産の合掌造り集落において、合掌造り家屋の屋根葺替えや棚田の石積み修復などの保存整備事業を計画的に実施し、歴史的景観の適切な保全に努めた。</p> <p>平成 8 年に策定した相倉・菅沼両集落の史跡保存管理計画について、新たに「史跡保存活用計画」として令和元年度末の完成を目処に取組んでいる。平成 30 年度は菅沼集落の基礎調査及び有識者を交えた策定委員会を実施している。</p> <p>平成 28 年策定の「五箇山景観計画」に基づく届出制度などにより、携帯電話基地局の新設や、建築行為等における景観への配慮など少しずつ効果が現れている。</p> <p>小茅の自給率の向上を図るため南砺市茅場の造成事業補助金により、タカンボースキー場のゲレンデにおける茅場造成事業に支援を前年に引き続き行った。令和元年度まで毎年 2,000 m²程度の造成を計画的に進める。また、相倉集落、菅沼集落及び遊部自治会がそれぞれ取り組む茅場造成事業に対しても補助金交付による支援を行っており、今後も継続した事業支援により、令和 6 年度には 15,000 束の収穫量が見込まれる。</p> <p>啓発活動では上平小学校 6 年生を対象に職員が講義を実施し、世界遺産をテーマとしたフィールドワークのサポートを行ったほか、「14 歳の挑戦」における合掌の屋根葺き作業体験への支援、子供にも分かりやすい世界遺産のパンフレットの配布等を行った。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>国史跡である相倉・菅沼集落の保存活用に万全を期するため、現行の史跡保存管理計画の見直しを行い、史跡の保存と住民の生活が調和する、今日に即した保存活用、整備の基本方針となる保存活用計画の策定に引き続き取り組む。</p> <p>世界遺産の緩衝地帯の景観づくりを着実に推進するため、五箇山景観計画が定める「眺望点」「五箇山景観資産」の指定による積極的な周知に努める。</p> <p>計画的な茅場の造成事業に取り組み、小茅の増産・自給率向上を図るとともに、今後必要となる新たな茅保管場所の確保について検討を進める。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業	<p>国指定史跡相倉・菅沼集落にある建造物等の修理・整備を行い、歴史的景観の保全を図るとともに、修理現場の公開など市民が歴史や伝統文化に親しむ場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相倉集落 茅葺替えほか1棟 菅沼集落 茅葺替えほか1棟 	30,123
指定文化財管理事業	<p>国指定文化財の所有者が行う管理上特に必要のある措置（棟直し、雪下ろし、消防設備点検等）に要する経費に対して補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財4棟 岩瀬家、村上家 羽馬家、白山宮本殿 史跡相倉・菅沼集落 	16,475
国指定史跡越中五箇山相倉集落・越中五箇山菅沼集落史跡保存活用計画策定事業	<p>両集落にかかる史跡保存活用計画を令和元年度末完成目処に策定を行う。前回策定から四半世紀を経過、様々な変化を踏まえた内容に刷新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 菅沼集落基礎調査 史跡保存活用計画策定委員会 	2,146
電源立地地域対策交付金事業	<p>市有合掌造り家屋の屋根葺替えや、相倉・菅沼両集落に関する便民施設等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 葺替え工事 1棟 合掌の里竹中家 	13,230
南砺市茅場造成事業	<p>小茅の自給率向上を目的に、タカンボースキー場のゲレンデを活用し、茅場の造成に取り組んだ。</p> <p>造成面積 2,100 m²</p> 	4,137
五箇山合掌造り家屋保護事業	<p>五箇山地域に在る国・県指定文化財以外の茅葺き建築物の葺替えや屋根雪下ろしに要する経費に対して補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根葺替え 1棟 屋根小修理 2棟 屋根雪下ろし 2棟 	9,064

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化財収蔵・展示施設の機能充実		
主な取組	① 重要無形民俗文化財「城端曳山祭」の支援 ② 埋蔵文化財の活用と調査・整理室機能 ③ 民俗文化財保管・展示		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
改修済みの文化財収蔵施設数	3	3	4	0.75	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>国重要無形民俗文化財の保存継承のため、城端曳山祭保存会では、外部講師を招いて、庵唄や囃子方の技能研鑽を継続的に実施している。また、城端曳山連合会では、曳山巡行を滞りなく行うための順路の調整や曳き手人員の確保に努めている。</p> <p>埋蔵文化財センターでは、資料の展示に加えて歴史体験教室を開催した。平成30年度は高瀬遺跡菖蒲まつりでの教室開催や、市内小中学校の校外学習受け入れ等を行った。また、南砺市出土遺物の複製品作成を行い、展示資料と体験教室教材が充実した。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>ユネスコ無形文化遺産に登録以降、注目度が高まる城端曳山祭について、遺産の価値を高めるためにも、保存・継承に努めながら活用を図る。</p> <p>埋蔵文化財センターは、小中学生にもわかりやすい展示、体験教室の充実を図る。ふるさと学習や歴史体験の拠点施設としても活用し、小中学生や市民に地域の歴史に理解を深めてもらい、郷土愛を醸成させる。</p> <p>民俗文化財の保管・展示場所を確保する。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
城端曳山祭保存活動支援	城端曳山連合会及び城端曳山祭保存会活動補助金 	777
埋蔵文化財活用事業	南砺市出土遺物復元・複製品作成 	1,890

ア 計画の体系

基本目標	5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化・歴史遺産の保存と活用		
主な取組	① 文化財の保存と活用 ② 伝統芸能保存団体の育成 ③ 民俗文化財の調査		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
埋蔵文化財センター入館者数	1,152 人	1,466 人	2,000 人	0.73	目標値を変更(H28年度総合計画)
国登録有形文化財件数	8 件	9 件	10 件	0.90	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。
	C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>「吉江地区招魂社」（福光地域）、「桂湯」（城端地域）「富田家住宅」（福野地域）について、国登録有形文化財への登録申請を行い、答申を受けた。</p> <p>伝統文化保存団体の活動を支援するため、補助金を交付し継承と後継者の育成に努めている。庵唄については、平成27年度より城端だけでなく福光や福野の団体にも視野を広げ、講師を招いた実践指導により技能向上を図った伝承保存活動も行っている。獅子舞等の保存団体については、少子高齢化の進行により、後継者の確保が深刻な問題となっている。このため、伝統的に男子だけで行われてきた行事に、女子の参加により後継者を確保する団体が増えてきている。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>伝統文化保存団体の活動を支援するため、継続して補助を行う。獅子舞等の伝統文化は、基本的に地域が独自に継承していくべきものではあるが、後継者の育成等に、市として協力できる部分があれば支援していく。市内庵唄の保存継承について継続して補助を行う。</p> <p>国登録候補の建造物について引き続き調査を進め、今後数年間は年2件程度（民間希望を優先）のペースで登録申請を行う。登録を受けた建造物はできるだけ活用を図りながら保存に努める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>庵唄伝承保存活動支援 伝統文化保存団体活動支援</p>	<p>庵唄伝承保存活動協議会 活動補助</p> 	<p>959</p>
<p>指定文化財等の伝統文化 保存団体への補助（5団体） 越中五箇山民謡保存会 五箇山深山会 城端千代音加礼保存会 福光ちょんがれ保存会 荒木ねつおくり祭り 保存会</p>		<p>331</p>
<p>国登録文化財制度 の活用</p>	<p>新規登録申請文化財 3 件 吉江地区招魂社（福光地域） 桂湯（城端地域） 富田家住宅（福野地域）</p>   	<p>予算計上なし</p>

ア 計画の体系

基本目標	6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(1) 幼児教育・保育サービスの充実及び支援		
主な取組み	① 幼児教育・保育の機会拡大と内容の充実 ② 職員の人材確保と研修の充実 ③ 読み聞かせの充実 ④ 食育の推進 ⑤ 避難訓練・防犯対策等の実施 ⑥ 保育環境の向上 ⑦ 私立の教育・保育施設への支援 ⑧ 幼・保・小の連携		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
就労しながら無理なく子育てできると感じる市民の割合	62.1%	62.6%	70%	0.89	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

指標は、前年度に比べわずかな上昇であるが、各取組は着実に推進できており、達成度も約 9 割で A 評価としている。

保育園・認定こども園等における低年齢児の入園が増えており、公立・私立の教育・保育施設が連携して受入れ枠（提供量）を確保し、待機児童ゼロを維持した。

保育士不足の中、人材を確保するため、正規保育士の新規採用に努めるとともに臨時職員の賃金アップによる処遇改善を図った。


平野部の防犯カメラ未設置保育園へのカメラの設置及び保育園等に防犯用器材を配置し防犯・不審者対策を推進した。

国の公定価格の改定や入園児の増等により私立認定こども園・保育園への施設型給付等の運営費が増額となったが、確実な財政的支援を行い、職員の処遇改善、安定的な園の運営、キャリアアップによる保育の質の向上への支援に努めた。

エ 今後の取組と改善点

<p>保育士不足の中、多様な保育サービスに応えられる職員体制を各園で整えるとともに、地域における保育ニーズ等を見極め、子どもが健やかに育つ環境づくりに努める。</p> <p>保育園では、特別保育や低年齢児の途中入園等に対応するための臨時職員が多くなってきており、研修等を通じた保健衛生・安全対策等の各種運営マニュアルの共通理解に努め資質の向上を図る。また、新採職員の採用方法等を検討する。</p> <p>保護者ニーズが高い病児保育は、関係部署等と連携し開設に向けて準備を進めていく。</p> <p>市内私立保育園・認定こども園は、地域の教育・保育施設として重要な役割を担っており、今後もお互いの連携をしっかりと行い、充実した幼児教育・保育の提供に努める。</p>

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
施設型給付等の支給	私立認定こども園や保育園等に対して運営費の給付等を行い、質の高いサービスの提供を支援	301,571
地域子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業 一時預かり事業 延長保育事業 病児保育事業（病後児、体調不良児対応）	47,265
保育士・看護師等の確保	安全で安心して預けられる質の高い保育を実施するため、保育士・看護師等の人材を確保	457,335
保育士研修	保育の質の向上のための研修等の実施	515
施設・設備の工事・修繕 備品の購入	工事請負費 3,748千円  保育園施設・設備の修繕料 5,002千円 保育備品の購入 1,172千円	9,922
幼・保・小の連携	各小学校において、幼・保・小連絡会を開催し、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携を進めるため、情報交換を実施	予算計上なし

ア 計画の体系

基本目標	6 子どもが健やかに育つ子育て環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(2) 児童の居場所づくりの推進		
主な取組み	① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
放課後児童クラブ実施数	9 か所	9 か所	10 か所	0.90	
地域主体の学童保育実施数（とやまっ子さんさん広場）	5 か所	5 か所	6 か所	0.83	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>各児童館において、異年齢児交流事業や世代間交流事業、地域交流事業などの事業を活発に行うとともに、体験活動も多く企画し、児童の健全育成に努めた。</p> <p>福野児童センター「アルカス」の利用児童の過密化緩和を図るため、併設する放課後児童クラブを分割し、福野B&G海洋センターへの移設を行った。また、同児童センターの駐車場不足解消を図るため駐車場増設工事を行い、利用者の安全確保及び安心できる環境整備を図った。</p> <p>経年劣化が著しかった福光児童館「きっずらんど」の外壁木部の塗装工事を行った。</p> <p>福光中部小学校改修工事に伴って福光中部っ子クラブ室改修工事を行い、クラブ室の面積を拡大し児童の受入体制の充実を図るとともに、静養室やトイレなどの機能を整えた。</p> <p>各児童館・放課後児童クラブに刺股や防犯スプレーを配備し、防犯対策に努めた。</p> <p>地域主体で運営されている学童保育のとやまっ子さんさん広場へ財政支援を行い、運営の継続に努めた。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>引き続き指定管理者制度を導入している児童館について、適正な管理運営を実施するよう指導・監督を行っていく。</p> <p>建設から20年以上経過する福野児童センター「アルカス」内部の老朽化及び放課後児童クラブの東部げんきっ子クラブを開設している旧吉江保育園舎の老朽化等の課題があり、児童の安全安心な居場所の確保に努める。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
児童館施設指定管理	児童館施設 4館	29,873
放課後児童クラブ事業	市直営 3クラブ 運營業務委託 6クラブ	39,715
福野児童センター「アルカス」駐車場増設工事	設計監理委託料 497千円 工事請負費 8,529千円 	9,026
福光児童館「きつずらんど」外壁木部塗装工事	設計監理委託料 184千円 工事請負費 2,884千円 	3,068
福光中部っ子クラブ室改修工事	工事請負費 17,097千円 	17,097
地域主体の学童保育 (とやまっ子さんさん 広場)	運営への補助（5団体） 北野子どもふれあい広場、寺子クラブ、 いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場、 福野南部なかよし広場	3,844

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(1) 子育て支援サービスの充実		
主な取組み	① 子育てへの指導・助言 ② 子育て支援機能の強化・充実 ③ 子育て家庭への経済的支援の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
ファミリー・サポート・センター事業の利用数	依頼件数 261 件 活動回数 514 回	依頼件数 195 件 活動回数 259 回	依頼件数 300 件 活動回数 560 回	0.65 0.46	
子育てに喜びや生きがいを感じている保護者の割合	89.9%	90.7%	95.0%	0.95	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	ファミリー・サポート・センター事業の利用数が大幅に減少しているが、特定の家庭への支援が終了したことや放課後児童クラブ延長制度を設け支援を充実させた（対応件数 858 件）ことによるものであり、子育て家庭への支援充実に努めている。子育てに喜びや生きがいを感じている保護者の割合は、前年度比 0.8 ポイント上昇しているため A 評価としている。 こども妊産婦医療費やひとり親家庭等医療費の助成制度の福祉医療費請求書の電子データを県下一斉に導入し、子育て家庭の利便性の向上、手続きの負担軽減を図った。 南砺の三人っ子政策事業は、対象範囲を拡充したことにより支援世帯が増加した。 保育園等において、保育料などの第 3 子以降の無料化、多子世帯軽減、三世帯同居世帯軽減を行っている。また、移住定住者世帯に係る保育料無料化については、対象者が増えており転入者の増加につながっていると考えられる。 子育て支援センター 2 か所を土・日曜日に開き（子育て交流サロン）、子育てに関する育児不安・悩み相談や情報交換等ができる場所を提供した。また、チラシ配布やホームページ等で PR に努めた。

エ 今後の取組と改善点

ファミリー・サポート・センター事業の一層の周知に努めるとともに、引き続き協力会員の確保を図り支援体制の充実に努めていく。 子育て支援センターについては、センターや業務・サービス内容の周知及び支援が必要な方の掘り起こし、相談体制や講座内容等の見直しを図り、支援内容の充実に努める。 国では、10 月から幼児教育・保育の無償化が予定されており、県の保育料軽減事業等の内容の適確な把握、市の保育料・副食費等の徴収及び軽減内容を整理して、教育・保育施設並びに保護者への説明・周知を図り、間違いなく実施していく。

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
子育て支援センター事業 子育て交流サロン事業	<p>家庭で子育てをしている保護者を支援するため、子育て親子に交流の場や子育て関連情報を提供するとともに、子育てに関する相談や講習等を実施</p>  <p>子育て支援センター2か所を土・日曜日に開所</p>	64,274
ファミリー・サポートセンター事業	会員による子育て家庭の育児の相互援助を実施	805
保育料軽減等による経済的支援（歳入影響額）	<p>第3子以降の保育料等無料化 多子世帯（同時入園）の保育料軽減 三世帯同居する世帯の保育料軽減 移住定住者世帯に係る保育料の無料化</p>	197,503
こども・妊産婦医療費助成事業 養育医療給付事業	<p>医療費（保険適用分）の自己負担額を助成</p> <p>こども医療（0歳～中学生）延べ 5,953人 妊産婦医療 延べ 106人 養育医療（未熟なまま産まれた乳児の、指定医療機関における必要な入院医療費） 8人</p>	137,091
出生祝い金支給	<p>お子さんの健やかな成長を願い出生祝い金の支給 279人 うち三世帯同居による加算 137人</p>	36,830
児童手当の給付	次代を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援するため支給される手当	655,485
南砺の三人っ子政策事業	<p>中学生から大学生までの範囲で3人以上養育する家庭の高校生を持つ保護者を対象とした経済的支援に拡充</p> <p>医療費（保険適用分）全額補助 86人 通学定期券の1/2補助 78人</p>	3,016
とやまっ子子育て応援券事業	<p>子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図り、子育て支援サービス等の利用促進のため、サービス等の利用券を交付</p>  <p>利用枚数6,617枚 (利用率59.7%)</p>	3,309

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(2) 児童・子育て家庭相談の充実		
主な取組み	① 特別支援教育などの充実（就学前相談・指導の充実） ② 要保護児童等への対策		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
女性・こども相談室等における相談人数（電話相談含む）	延べ 481 人	延べ 520 人	延べ 400 人	1.30	



ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	<p>女性・こども相談室に児童福祉、母子福祉等の専門性のある相談員（家庭児童相談員 2 人、母子・父子自立支援員 1 人、女性相談員 1 人）を配置し、来所や電話のほか各種相談会や個別訪問などによる相談対応を行った。困り事を抱える家庭には問題点が複数ある場合が多く、関係部署や関係機関との連携を図り解決を目指した。</p> <p>幼児や小学校低学年の子どもの発達に気がかりがある保護者に対して、臨床心理士による発達に関する相談会を実施し、専門的な指導・助言を行った。</p> <p>市の児童虐待の対応機関として、学校や母子保健部署、その他関係機関との連携を図り、随時ケース会議を行うなど要保護児童対策の充実に取り組んだ。</p> <p>また、全国的に児童虐待問題が多様化、深刻化している現状を踏まえ、「児童虐待への対応における南砺市及び富山県警察の情報共有に関する協定書」を締結し、相互に保有する情報を共有し、緊密な連携のもと、児童虐待の予防、早期発見及び児童の安全確保を図る体制を明文化した。</p>

エ 今後の取組と改善点

<p>女性・こども相談室等の相談業務は、今後も来所相談のみならず、家庭児童相談員による保育園や児童館、必要に応じた家庭訪問などを行い、継続して重点的に取り組む。</p> <p>また、発達において支援が必要な児童への支援体制の充実に向け、家庭児童相談員の知識及び技能等を共有し、保育士や保健師の専門性の向上に努める。</p> <p>要保護児童地域対策協議会の役割を明確にし、かつ、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応を行うため、児童虐待対応マニュアルの作成に取り組む。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
相談支援事業	育児やこどもの発達、児童虐待など子育てに関することや、離婚や配偶者等による暴力などさまざまな問題や心配事に応じるため、相談員を配置 女性・こども相談室の 相談人数 延べ520人 	6,812
こどもの発達相談会	発達に気がかりがある子どもを持つ保護者に対する臨床心理士による個別相談会の開催 在園児が対象（主に年中・年長児） 12回	198
集団支援教室	発達に気がかりがある保育園等に在園している年中・年長児の集団支援教室「カンガルーひろば」の開催 9回	176
保育園巡回訪問	言語聴覚士が中心となって市内の全保育園、認定こども園を巡回し、発達に気がかりがある児童のアセスメント、園での児童への支援について助言を行う。年長児の訪問時は、教育総務課と早期支援教育コーディネーターも同行している。 年2回（春季、秋季） 必要時随時対応	予算計上なし
要保護児童対策地域協議会	要保護児童の早期発見及び適切な保護又は要支援児童もしくは特定妊婦への適切な支援を行うため設置する組織 代表者会議 1回 実務者会議 6回 ケース会議 31回 	61

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(3) ひとり親家庭の自立支援		
主な取組み	① ひとり親家庭等への経済的支援の充実 ② 相談や情報提供機能の充実		

イ 主な指標（達成度）

項目	前年(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
児童扶養手当受給者に対する、ハローワーク等と連携した就労支援の達成率	57.1%	56.3%	100%	0.56	


ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
B	B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
<p>小学校・中学校・高校へ進学する子どもを持つひとり親家庭の保護者に対する入学祝い金の支給や、ひとり親家庭の高校生の通学定期券に対する補助を行い、子育てにかかる費用を支援し、経済的負担の軽減を図った。</p> <p>就職に結びつきやすい資格の取得を目指すひとり親等に対して、資格取得の期間に必要な生活費の一部を支給し、今後の就業の安定に向けた支援を行った。</p> <p>児童扶養手当現況確認時の出張ハローワーク実施をはじめ、年間を通して職業安定所との連携強化を図り、ひとり親の就労による自立につながるよう支援を行っている。転職を繰り返す方もあるが、根気よく継続して支援している。</p> <p>ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業の拡充を行い、より利用の促進を図った。制度のチラシをひとり親家庭等医療費助成制度の対象者への郵送案内に同封し周知に努めた。</p>	

エ 今後の取組と改善点

<p>引き続き定期的な広報で制度の周知を行っていくが、ひとり親家庭への支援制度が知られていない現状が見られるため、窓口での手続きの際に各種制度案内の徹底に努めていく。</p> <p>就労しながら子育てができるよう、引き続きハローワークと連携して雇用や勤務体系等に理解のある事業所とのマッチングを行い、ひとり親の子育て環境の向上に努めていく。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
ひとり親世帯子育て 応援制度	【ひとり親家庭支援事業】 入学祝い金（小、中、高）の支給 88人 高校通学定期券の1/2補助 72人	5,573
ひとり親家庭医療費助 成制度	ひとり親家庭等に対し医療費（保険適用分）の自己 負担額を助成	16,465
児童扶養手当の給付	ひとり親家庭の生活の安定と児童の健やかな成長 を願って手当を支給	84,979
母子家庭等就業自立 支援事業	高等職業訓練促進給付金支給者 2人	1,764
ファミリー・サポート・ センターひとり親家庭 等利用支援事業	ひとり親家庭等の子育ての負担軽減及び地域にお ける育児に関する相互支援活動の推進 	10

ア 計画の体系

基本目標	7 子どもへの喜びや生きがいを持つ子育て家庭への支援	担当課	こども課
基本施策	(4) 次世代の親の育成		
主な取組み	① 家庭での教育力の向上と次世代の親の育成		

イ 主な指標（達成度）

項目	現状(H29)	現状(H30)	目標値(R1)	達成度	備考
交流事業の開催回数	12 回	13 回	12 回	1.08	

ウ 点検及び評価

評価	A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。 B：施策に効果は現れているが、改善等の取組を要する。 C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。
A	

保育園・認定こども園等で保護者などを対象に、子どもの成長段階に合わせた子育て教室・講座を開催して、親自らがその役割について学ぶ活動を行った。

積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性（イクメン）を増やすため、子育てに関する講座「パパ講座」を開催した。また、保健センターと連携して、妊娠・出産を控えた夫婦を対象として「もうすぐパパ講座」を開催した。

子育て支援センター、保育園、児童館等で、乳幼児と中学生・高校生とのふれあい事業を行い、子どもとかわる・世話をする経験の場を設けた。

エ 今後の取組と改善点

<p>交流事業開催回数は目標値に達しているが、次世代の親の育成のため、保育園・児童館等と連携し、中・高生のボランティア活動の受入や乳幼児とのふれあいの場をより充実させる。</p> <p>保護者等の就業などにより、子どもと接する時間が減少しており、幼児期から基本的な生活習慣や生活能力などを身につけるには、家庭の役割が重要であることから、家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>子育て講座等の中に親子での運動遊びの機会を設け、親子のふれあいの場の持ち方や子どもの運動能力の向上に努めていく。</p> <p>今後は、育児休業や残業がない働き方等の子育てに理解のある市内企業の増加を図り、市全体で子育てしやすい職場環境づくりを推進していく。</p>
--

オ 主な事業

事業名	事業内容	事業費千円
<p>子育て教室・講座 ふれあい教室</p>	<p>各種子育て教室・講座の開催 乳幼児と高校生とのふれあい教室の開催</p> 	<p>2,807</p>
<p>イクメン応援事業</p>	<p>積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性（イクメン）を増やすため子育てに関する講座（パパ講座）を開催</p> 	<p>47</p>
<p>中・高生のボランティア活動の受入</p>	<p>砺波工業高校生によるおもちゃの病院 福光高校読み聞かせボランティア</p>  	<p>予算計上なし</p>

学識経験者の意見について

1. 点検評価委員会開催日、時間及び場所

令和元年9月11日(水) 13時00分から
南砺市井波庁舎 301会議室

2. 主な意見

(1) 電子黒板や教材提示装置の整備について

基本施策：確かな学力の育成（点検・評価報告書 18頁）

現在、電子黒板や教材提示装置はどの程度整備されているのか。電子黒板はとても使いやすく大変便利である。電子黒板ではなくても、教材提示装置が学級ごとにより、日常的に使えるようになれば、先生たちにも子どもたちにもとても役に立つと思う。

(2) 小学校における学校図書館月平均貸出冊数の減少について

基本施策：自他を尊重し、他を思いやる心の育成（点検・評価報告書 19頁）

「学校図書館月平均貸出冊数」について、小学校の0.7冊の減少は大きいと感じている。この指標を達成することは大変難しいが、貸出冊数を増やす方策を考えるべきだと思う。

(3) ICTに関わることについて

基本施策：学校教育環境の整備（点検・評価報告書 23頁）

ICTに関わることについて、学校の現場では通信回線が貧弱で、ICT遠隔協働学習などで円滑な授業が行えないという話を聞いたことがある。通信回線の強化について、見通しをもって計画を立てていただきたい。

(4) 市立図書館の年間図書貸出冊数について

基本施策：生涯学習活動の推進（点検・評価報告書 25頁）

「年間図書貸出冊数の目標値達成に向けて、高校との連携事業をさらに押し進める」とあるが、具体的にどのようなことか。図書貸出冊数を増やすため、講座を図書館で開き、その関連本を紹介するのはどうか。申し込めば他の図書館から本を取り寄せられるので、様々な関連本を準備することもできると思う。

(5) チャレンジデーin などについて

基本施策：各種スポーツ大会・教室の開催（点検・評価報告書 33頁）

チャレンジデーin などについて、もっと参加しやすい企画はないのか。女性の立場からすると、イベントの情報があまり目に触れないような気がする。SNS で知り合いから情報がきて動き出すというケースも若い人たちには多いと思うが、時代に合った手段を用いての広報も考えてもよいと思う。

(6) 施設利用の有料化による影響について

基本施策：各種スポーツ大会・教室の開催（点検・評価報告書 33頁）

施設利用が有料化されるかもしれないという話を聞いた。「総合型地域スポーツクラブ加入率」や「スポーツを行っている市民の割合」という指標があるが、施設利用の有料化によって、これらの率や割合の低下が心配である。

(7) 文化財収蔵施設と埋蔵文化財センターの活動について

基本施策：文化財収蔵・展示施設の機能充実（点検・評価報告書 49頁）

主な指標の「改修済みの文化財収蔵施設数」について、平成30年度は改修しなかったということか。点検及び評価に「展示資料と体験教室教材が充実した」とあるが、昨年度に加えてさらに体験の内容が増えたのであれば、多くの子育て世代に個人や団体に利用して楽しんで欲しい。

(8) 獅子舞の保存について

基本施策：文化・歴史遺産の保存と活用（点検・評価報告書 51頁）

獅子舞の保存について、「後継者の育成等に、市として協力できる部分があれば支援していく」とある。また、獅子舞共演会については、後継者不足や獅子舞文化の大切さを市民に共有できて良かったと思うので、これからも続けてほしい。

(9) 保育士不足と保育料の無料化について

基本施策：幼児教育・保育サービスの充実及び支援（点検・評価報告書 53頁）

現在、入園児も低年齢化しており、本当に保育士が不足していると思う。特に10月から保育料の無料化が始まれば、短時間と標準時間の関係が崩れ、子どもたちが保育園にいる時間が長くないか。さらに保育士不足に拍車がかかるのではないかと心配している。

(10) 児童の居場所づくりについて

基本施策：児童の居場所づくりの推進（点検・評価報告書 55頁）

最近、子どもたちが変な人に声をかけられたという話が多くあり、気軽に声をかけられない状況にある。専用のバッジを作成し、それを付けていれば声をかけてもよいというような取り組みをしてみはどうか。また地域包括ケアセンターが各地区に働きかけている週1回の高齢者のサロンを、放課後に子どもたちが来られるような内容にしてはどうか。子どもたちと高齢者がふれあえる場を提供できればよい。

(11) 児童虐待対応マニュアルについて

基本施策：児童・子育て家庭相談の充実（点検・評価報告書 59頁）

今後の取組と改善点に「児童虐待対応マニュアルの作成に取り組む」とある。家庭によって様々なケースがあるため、このようなマニュアルの作成に取り組まれているのだと思う。

令和元年度
教育委員会事務の点検・評価報告書

南砺市教育委員会
〒932-0292 南砺市井波 520 番地
TEL : 0763-23-2012 FAX : 0763-82-1144